

ハードウェア リファレンス ガイド : dc5800 MT

HP Compaq Business PC

© Copyright 2008 Hewlett-Packard
Development Company, L.P. 本書の内容
は、将来予告なしに変更されることがあり
ます。

Microsoft、Windows、および Windows
Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国
およびその他の国における商標または登録
商標です。

HP 製品およびサービスに対する保証は、当
該製品およびサービスに付属の保証規定に
明示的に記載されているものに限られま
す。本書のいかなる内容も、当該保証に新
たに保証を追加するものではありません。
本書に記載されている製品情報は、日本国
内で販売されていないものも含まれてい
る場合があります。本書の内容につきましては
万全を期しておりますが、本書の技術的
あるいは校正上の誤り、省略に対して責任
を負いかねますのでご了承ください。

本書には、著作権によって保護された所有
権に関する情報が掲載されています。本書
のいかなる部分も、Hewlett-Packard
Company の書面による承諾なしに複写、複
製、あるいは他言語へ翻訳することはでき
ません。

ハードウェア リファレンス ガイド

HP Compaq Business PC

dc5800 MT

初版 2008 年 1 月

製品番号 : 460185-291

このガイドについて

このガイドでは、このコンピュータの機能およびハードウェアのアップグレードについて説明します。

- △ **警告！** その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こすおそれがあるという警告事項を表します。
 - △ **注意：** その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こすおそれがあるという注意事項を表します。
 - 📖 **注記：** 重要な補足情報です。
-

目次

1 コンピュータの機能

| | |
|------------------------|---|
| 標準構成の機能 | 1 |
| フロント パネルの各部 | 2 |
| メディア カード リーダーの各部 | 3 |
| リア パネルの各部 | 4 |
| キーボード | 5 |
| Windows ロゴ キーの使用 | 6 |
| シリアル番号の記載位置 | 7 |

2 ハードウェアのアップグレード

| | |
|--|----|
| 保守機能 | 8 |
| 警告および注意 | 8 |
| コンピュータのアクセス パネルの取り外し | 9 |
| コンピュータのアクセス パネルの取り付け | 10 |
| フロント パネルの取り外し | 11 |
| フロント パネルの取り付け | 12 |
| メモリの増設 | 13 |
| DIMM | 13 |
| DDR2-SDRAM DIMM | 13 |
| DIMM ソケットへの取り付け | 14 |
| DIMM の取り付け | 15 |
| 拡張カードの取り外しまたは取り付け | 17 |
| ドライブの位置 | 22 |
| ドライブの増設 | 23 |
| システム ボードのドライブ接続 | 25 |
| 外付け 5.25 インチ ドライブまたは 3.5 インチ ドライブの取り外し | 26 |
| 外付け 5.25 インチ ドライブまたは 3.5 インチ ドライブの取り付け | 29 |
| 内蔵 3.5 インチ ハードディスク ドライブの取り外し | 32 |
| 内蔵 3.5 インチ ハードディスク ドライブの取り付け | 34 |
| リムーバブル 3.5 インチ SATA ハードディスク ドライブの取り外しおよび取り付け | 36 |

付録 A 仕様

付録 B バッテリーの交換

付録 C 外付けセキュリティ デバイス

| | |
|-----------------------|----|
| セキュリティ ロックの取り付け | 46 |
| ケーブル ロック | 46 |

| | |
|---------------------------------|----|
| 南京錠 | 47 |
| HP Business PC セキュリティ ロック | 47 |
| フロント パネルのセキュリティ | 49 |

付録 D 静電気対策

| | |
|-------------------|----|
| 静電気による損傷の防止 | 50 |
| アースの方法 | 50 |

付録 E コンピュータ操作のガイドラインおよび手入れと運搬時の注意

| | |
|-----------------------------------|----|
| コンピュータ操作のガイドラインおよび手入れに関する注意 | 51 |
| オプティカル ドライブの使用上の注意 | 52 |
| 操作および取り扱いに関する注意 | 52 |
| クリーニングの際の注意 | 52 |
| 安全にお使いいただくためのご注意 | 52 |
| 運搬時の注意 | 52 |

| | |
|----------|----|
| 索引 | 53 |
|----------|----|

1 コンピュータの機能

標準構成の機能

HP Compaq dc5800 MT の機能は、モデルによって異なる場合があります。お使いのコンピュータに取り付けられているハードウェアおよびインストールされているソフトウェアの一覧を表示するには、診断用ユーティリティを実行します（一部のモデルのコンピュータにのみ付属しています）。ユーティリティの使用手順については、『トラブルシューティング ガイド』を参照してください。

図 1-1 dc5800 MT の構成



フロント パネルの各部

ドライブの構成はモデルによって異なります。

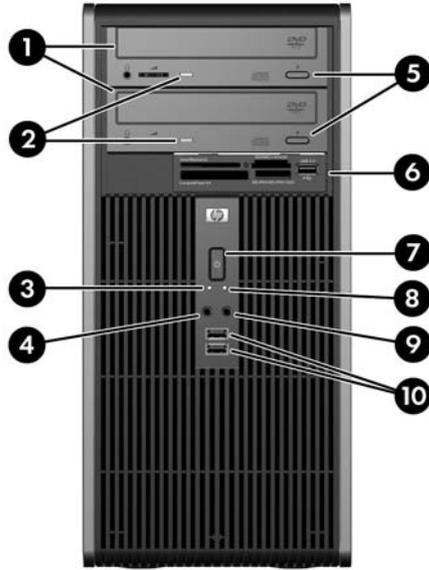


表 1-1 フロント パネルの各部

| | | | |
|---|-----------------------------------|----|--|
| 1 | 5.25 インチ オプティカル ドライブ ¹ | 6 | 3.5 インチ メディア カード リーダー (オプション) ² |
| 2 | オプティカル ドライブ ランプ | 7 | 電源ボタン |
| 3 | ハードディスク ドライブ ランプ | 8 | 電源ランプ |
| 4 | マイク コネクタ | 9 | ヘッドフォン コネクタ |
| 5 | オプティカル ディスク 取り出し ボタン | 10 | USB (Universal Serial Bus) 2.0 ポート |

注記： 通常、電源が入っている場合、電源ランプは緑色で点灯します。電源ランプが赤く点滅している場合は、コンピュータにトラブルが発生しており、診断コードが表示されます。コードについて詳しくは、『トラブルシューティングガイド』を参照してください。

¹ 一部のモデルでは、一方または両方の 5.25 インチ ドライブ ベイにドライブ ベイ カバーが付いています。

² 一部のモデルでは、3.5 インチ ドライブ ベイにドライブ ベイ カバーが付いています。HP では、このドライブ ベイ用のディスク ドライブをオプションで提供しています。

メディア カード リーダーの各部

メディア カード リーダーは、一部のモデルでのみ使用できるオプション デバイスです。メディア カード リーダー各部の位置については、以下の図と表を参照してください。

図 1-2 メディア カード リーダーの各部

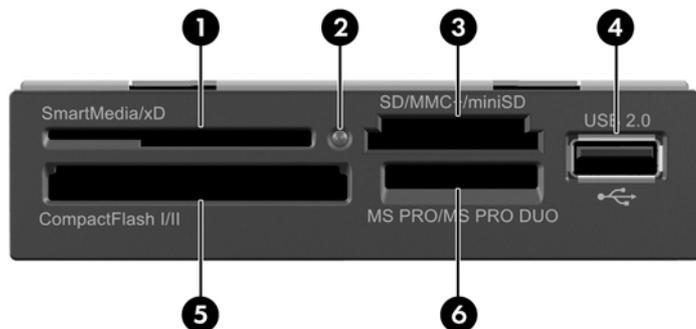


表 1-2 メディア カード リーダーの各部

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | SmartMedia/xD ピクチャ カード用スロット | 4 | USB (Universal Serial Bus) ポート |
| | <ul style="list-style-type: none">• 3.3V SmartMedia カード (SM)• xD ピクチャ カード | | |
| 2 | メディア カード リーダー ランプ | 5 | CompactFlash I/II 用スロット |
| | | | <ul style="list-style-type: none">• CompactFlash カード Type I• CompactFlash カード Type II• MicroDrive |
| 3 | SD/MMC+/miniSD 用スロット | 6 | メモリ スティック PRO/メモリ スティック PRO Duo 用スロット |
| | <ul style="list-style-type: none">• SD (Secure Digital) カード• MiniSD• マルチメディア カード (MMC)• Reduced Size マルチメディア カード (RS-MMC)• マルチメディア カード 4.0 (Mobile Plus)• Reduced Size マルチメディア カード 4.0 (MMC Mobile)• マルチメディア カード マイクロ (MMC Micro) (アダプタが必要)• MicroSD (T-Flash) (アダプタが必要) | | <ul style="list-style-type: none">• メモリ スティック (MS)• MagicGate メモリ スティック (MG)• MagicGate メモリ スティック Duo• メモリ スティック Select• メモリ スティック Duo (MS Duo)• メモリ スティック PRO (MS PRO)• メモリ スティック PRO Duo (MS PRO Duo) |

リアパネルの各部

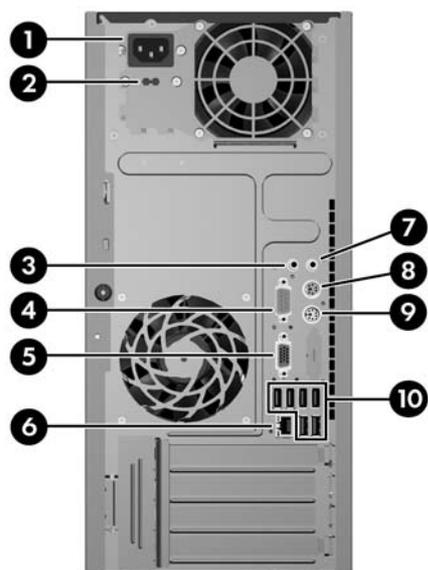


表 1-3 リアパネルの各部

| | | | |
|---|---|----|---|
| 1 | 電源コード コネクタ | 6 |  RJ-45 ネットワーク コネクタ |
| 2 | 電圧選択スイッチ | 7 |  ラインアウト コネクタ (緑色) : このコネクタからは接続したオーディオ機器に対して電力は供給されません |
| 3 |  ラインイン オーディオ コネクタ (青色) | 8 |  PS/2 キーボード コネクタ (紫色) |
| 4 |  シリアル コネクタ | 9 |  PS/2 マウス コネクタ (緑色) |
| 5 |  モニタ コネクタ | 10 |  USB (Universal Serial Bus) コネクタ |

注記： 装備されているコネクタの種類や数は、モデルによって異なる場合があります。

ラインイン オーディオ コネクタは、オーディオ ドライバのコントロール パネルでマイク コネクタとして再割り当てできます。

お使いのコンピュータに PCI Express x16 グラフィックス カードが取り付けられている場合、システム ボード上のモニタ コネクタは使用できません。

PCI または PCI Express x1 グラフィックス カードが取り付けられている場合、カードのコネクタおよびシステムボードのコネクタを同時に使用することができます。両方のコネクタを使用するには、一部の設定を[コンピュータ セットアップ (F10)]ユーティリティで変更する必要があります。ブート VGA コントローラの設定方法については、『コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ ガイド』を参照してください。

キーボード

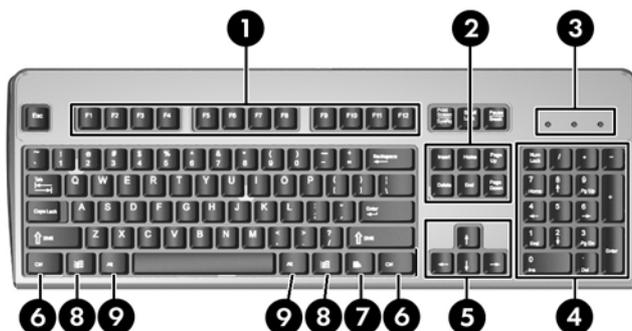


表 1-4 キーボードの各部（日本語キーボードのキー配列は若干異なります）

| | | |
|---|-----------------------------|---|
| 1 | ファンクション キー | この機能は、お使いのアプリケーション ソフトウェアによって異なります |
| 2 | 編集キー | ここには、[Insert]、[Home]、[Page Up]、[Delete]、[End]および[Page Down]の各キーがあります |
| 3 | ステータス ランプ | コンピュータおよびキーボード設定のステータスを示します（Num Lock、Caps Lock、および Scroll Lock） |
| 4 | 数字キー | 電卓のテンキーのように使用できます |
| 5 | 矢印キー | 文書ファイルやワークシート、または Web サイト内を移動するときに使用します。マウスを使わずにキーボードのキーを押すことによって、画面内で上下左右に移動できます |
| 6 | [Ctrl]キー | 別のキーと組み合わせて使用します。機能は、使用しているアプリケーション ソフトウェアによって異なります |
| 7 | アプリケーション キー ¹ | マウスの右ボタンと同様に Microsoft® Office アプリケーション内でポップアップメニューを表示させるために使用します。また、他のアプリケーション ソフトウェアで別の機能を実行することもできます |
| 8 | Windows® ロゴ キー ¹ | Microsoft Windows の[スタート]メニューを開くために使用します。他のキーと組み合わせて使用すると、別の機能を実行できます |
| 9 | [Alt]キー | 別のキーと組み合わせて使用します。機能は、使用しているアプリケーション ソフトウェアによって異なります |

¹ 一部の地域でのみ使用可能なキーです。

Windows ロゴ キーの使用

Windows ロゴ キーを他のキーと組み合わせて、Windows オペレーティング システムで利用できるさまざまな機能を実行することができます。Windows ロゴ キーの位置については、[5 ページの「キーボード」](#)を参照してください。

表 1-5 Windows ロゴ キーの機能

| | |
|--|--|
| 次の Windows ロゴ キーの各機能は、Microsoft Windows XP および Microsoft Windows Vista®に対応しています。 | |
| Windows ロゴ キー | Windows の[スタート]メニューを表示または非表示にします |
| Windows ロゴ キー+ D | デスクトップを表示します |
| Windows ロゴ キー+ M | 開いているすべてのアプリケーションを最小化します |
| Shift + Windows ロゴ キー+ M | 最小化したすべてのアプリケーションを元に戻します |
| Windows ロゴ キー+ E | エクスプローラの[マイ コンピュータ]を起動します |
| Windows ロゴ キー+ F | ファイルやフォルダの検索を起動します |
| Windows ロゴ キー+ Ctrl + F | 他のコンピュータの検索を起動します |
| Windows ロゴ キー+ F1 | Windows のヘルプ画面を表示します |
| Windows ロゴ キー+ L | ネットワーク ドメインに接続している場合は、コンピュータがロックされます。ネットワーク ドメインに接続していない場合は、ユーザの切り替えが可能になります |
| Windows ロゴ キー+ R | [ファイル名を指定して実行]ダイアログ ボックスを表示します |
| Windows ロゴ キー+ U | ユーティリティ マネージャを起動します |
| Windows ロゴ キー+ Tab | タスクバーのボタンを切り替えます (Windows XP) Windows Flip 3-D を使用してタスクバー上のプログラムを切り替えます (Windows Vista) |
| 上の Windows ロゴ キーの機能に加えて、Microsoft Windows Vista では次の機能も使用可能です。 | |
| Ctrl + Windows ロゴ キー+ Tab | Windows Flip 3-D を使用して、矢印キーでタスクバー上のプログラムを切り替えます |
| Windows ロゴ キー+スペースバー | すべてのガジェットを手前に移動して、Windows サイドバーを選択します |
| Windows ロゴ キー+ G | サイドバーのガジェットを切り替えます |
| Windows ロゴ キー+ U | コンピュータの簡単操作センター |
| Windows ロゴ キー+ X | Windows モビリティ センターを表示します |
| Windows ロゴ キー+任意の番号キー | キーの番号と対応する位置にあるクイック起動のショートカットを表示します。たとえば、Windows ロゴ キー+ 1 ではクイック起動メニューの 1 番目のショートカットが表示されます |

シリアル番号の記載位置

各コンピュータのカバーの上部には、固有のシリアル番号ラベルおよび製品識別番号ラベルが貼付されています。HP のサポート窓口へのお問い合わせの際には、これらの番号をお手元に用意しておいてください。

図 1-3 シリアル番号および製品識別番号の記載位置



2 ハードウェアのアップグレード

保守機能

このコンピュータには、アップグレードおよび保守を容易にする機能が組み込まれています。この章で説明する取り付け手順のほとんどでは、道具を使う必要がありません。

警告および注意

アップグレードを行う前に、このガイドに記載されている、該当する手順、注意、および警告を必ずよくお読みください。

△ **警告！** 感電、火傷、火災などの危険がありますので、次の点に注意してください。

作業を行う前に、電源コードを電源コンセントから抜き、本体内部の温度が十分に下がっていることを確認してください。

電話回線のモジュラ ジャックを本体のリア パネルのネットワーク コネクタ (NIC) に接続しないでください。

必ず電源コードのアース端子を使用して接地してください。アース端子は重要な安全機能です。

電源コードは、製品の近くの手が届きやすい場所にあるアースされた電源コンセントに差し込んでください。

操作する人の健康を損なわないようにするため、『快適に使用していただくために』をお読みください。正しい作業環境の整え方や、作業をする際の姿勢、および健康上や作業上の習慣について説明しており、さらに、重要な電気的および物理的安全基準についての情報も提供しています。このガイドは、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/ergo> (英語サイト) でご覧いただけます。

△ **注意：** 静電気の放電によって、コンピュータやオプションの電気部品が破損することがあります。以下の作業を始める前に、アースされた金属面に触れるなどして、身体にたまった静電気を放電してください。詳しくは、[50 ページの「静電気対策」](#)を参照してください。

コンピュータが電源コンセントに接続されていると、電源が入っていてもシステム ボードには常に電気が流れています。内部部品の損傷を防ぐため、コンピュータのカバーを開ける場合は、電源を切るだけでなく、必ず事前に電源コードをコンセントから抜いてください。

コンピュータのアクセス パネルの取り外し

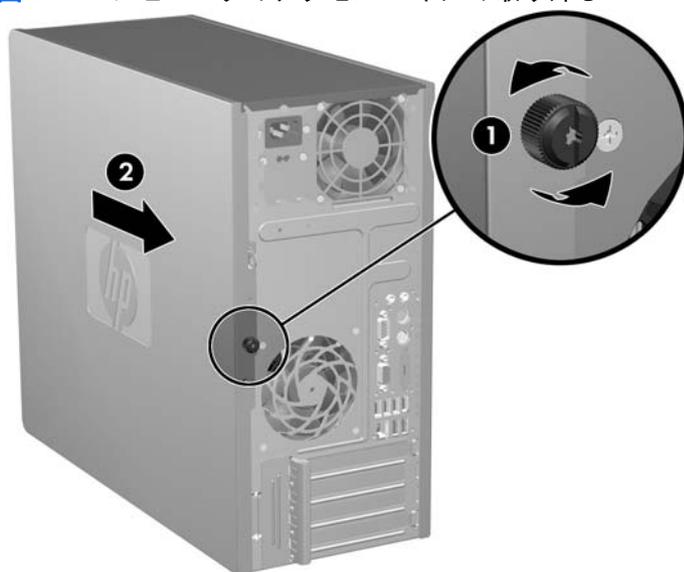
1. コンピュータが開かれないよう保護しているセキュリティ デバイスをすべて取り外します。
2. ディスケットやCDなどのすべてのリムーバブル メディアをコンピュータから取り出します。
3. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータおよび外付けデバイスの電源をすべて切ります。
4. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピュータからすべての外付けデバイスを取り外します。

△ **注意：** システムが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、システム ボードには常に電気が流れています。コンピュータの内部部品の損傷を防ぐため、必ず電源コードを抜いてください。

5. アクセス パネルをコンピュータのシャーシに固定しているネジを緩めます (1)。
6. アクセス パネルを後方へ約 1.3 cm スライドさせてから (2)、アクセス パネルを持ち上げ、シャーシから取り外します。

☞ **注記：** 内部に部品を取り付けやすいように、コンピュータを横置きにしてもかまいません。アクセス パネルの面が上になるように置いてください。

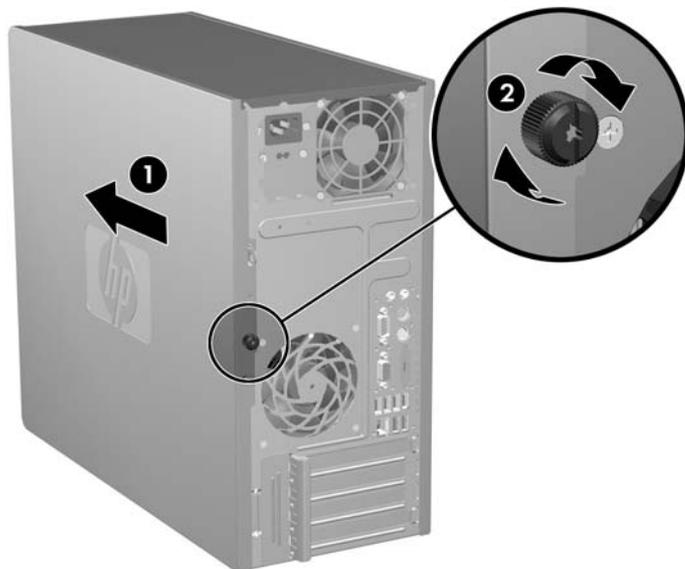
図 2-1 コンピュータのアクセス パネルの取り外し



コンピュータのアクセス パネルの取り付け

アクセス パネルを、シャーシの後方に約 1.3 cm 突き出した状態でシャーシに合わせ、所定の位置までスライドさせます (1)。アクセス パネルのネジ穴とシャーシのネジ穴の位置を合わせて、ネジを締めます (2)。

図 2-2 コンピュータのアクセス パネルの取り付け



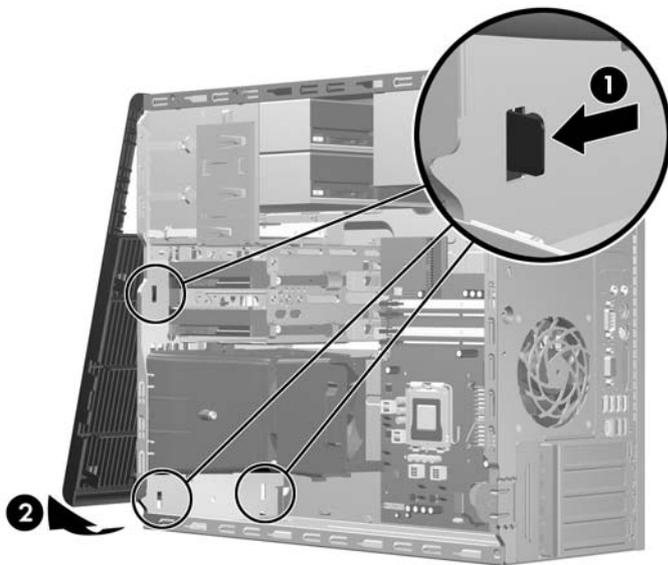
フロントパネルの取り外し

1. コンピュータが開かれないよう保護しているセキュリティ デバイスをすべて取り外します。
2. ディスケットやCDなどのすべてのリムーバブルメディアをコンピュータから取り出します。
3. オペレーティングシステムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータおよび外付けデバイスの電源をすべて切ります。
4. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピュータからすべての外付けデバイスを取り外します。

△ **注意：** システムが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、システムボードには常に電気が流れています。コンピュータの内部部品の損傷を防ぐため、必ず電源コードを抜いてください。

5. コンピュータのアクセスパネルを取り外します。
6. パネルの右側にある2つのラッチ、およびパネルの左側にある1つのラッチを外側に押し、(1)、フロントパネルの下部の固定を解除します。次に、フロントパネルの下部をシャーシから引き離すように回転させて(2)、フロントパネルの上部を取り外します。

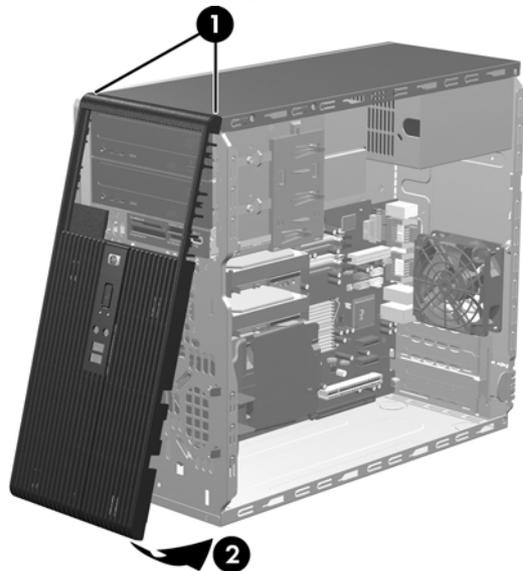
図 2-3 フロントパネルの取り外し



フロントパネルの取り付け

シャーシを垂直に立てます。フロントパネルの上部にある2つのフックを、シャーシの四角い穴（1）に差し込みます。フロントパネルの下部をシャーシに合わせ、フロントパネル下部の2つのフックが所定の位置に収まりカチッという音がするまで押し込みます（2）。

図 2-4 フロントパネルの取り付け



メモリの増設

お使いのコンピュータは、ダブル データ レート 2 シンクロナス DRAM (DDR2-SDRAM) デュアル インラインメモリ モジュール (DIMM) を装備しています。

DIMM

システム ボード上にあるメモリ ソケットには、業界標準の DIMM を 4 つまで取り付けることができます。これらのメモリ ソケットには、少なくとも 1 つの DIMM が標準装備されています。最大容量のメモリ構成にするために、高性能デュアル チャネル モードでコンフィギュレーションされたメモリを 8 GB まで増設できます。

DDR2-SDRAM DIMM

システムを正常に動作させるためには、必ず以下の条件を満たす DDR2-SDRAM DIMM を使用してください。

- 業界標準の 240 ピン
- アンバッファード PC2-5300 667 MHz 準拠、または PC2-6400 800 MHz 準拠
- 1.8 ボルト DDR2-SDRAM DIMM

DDR2-SDRAM DIMM は、以下の条件も満たしている必要があります。

- CAS レイテンシ 5.0 (DDR2 667 MHz、5-5-5 タイミング)、CAS レイテンシ 5.0 (DDR2 800 MHz、5-5-5 タイミング)、および CAS レイテンシ 6.0 (DDR2 800 MHz、6-6-6 タイミング) をサポートしている
- JEDEC の SPD 情報が含まれている

さらに、お使いのコンピュータでは以下の機能やデバイスがサポートされます。

- 512 メガビットおよび 1 ギガビットの非 ECC メモリ テクノロジ
- 片面および両面 DIMM
- ×8 および ×16 DDR デバイスで構成された DIMM。×4 SDRAM で構成された DIMM はサポートされない

 **注記：** サポートされない DIMM が取り付けられている場合、システムは正常に動作しません。

DIMM ソケットへの取り付け

システム ボードには 4 つの DIMM ソケットがあり、1 つのチャンネルにつき 2 つのソケットがあります。ソケットには XMM1、XMM2、XMM3、および XMM4 の番号が付けられています。ソケット XMM1 および XMM2 はメモリ チャンネル A で動作し、ソケット XMM3 および XMM4 はメモリ チャンネル B で動作します。

図 2-5 DIMM ソケットの位置

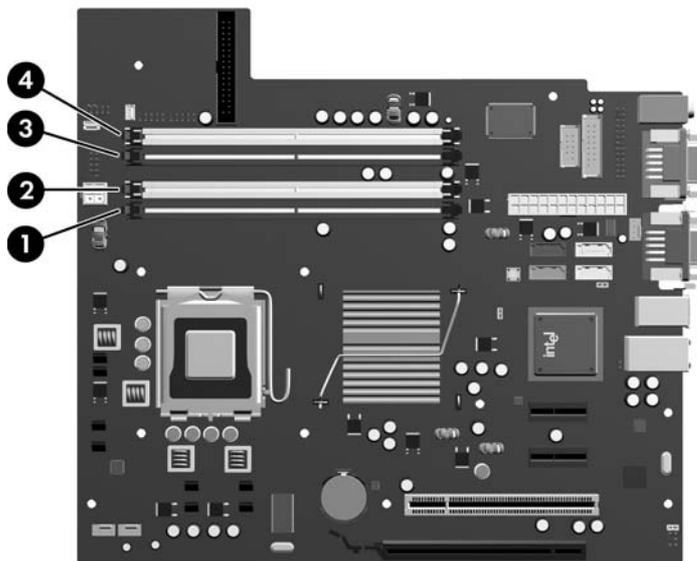


表 2-1 DIMM ソケットの位置

| 番号 | 説明 | ソケットの色 |
|----|--|--------|
| 1 | DIMM ソケット XMM1、チャンネル A (取り付け順 1 番目) | 黒 |
| 2 | DIMM ソケット XMM2、チャンネル A | 白 |
| 3 | DIMM ソケット XMM3、チャンネル B (取り付け順 2 番目) | 黒 |
| 4 | DIMM ソケット XMM4、チャンネル B | 白 |

注記： DIMM は、XMM1 ソケットに取り付ける必要があります。

取り付けられている DIMM に応じて、システムは自動的にシングル チャンネル モード、デュアル チャンネル モード、またはフレックス モードで動作します。

- 1 つのチャンネルの DIMM ソケットにのみ DIMM が取り付けられている場合、システムはシングル チャンネル モードで動作します。
- チャンネル A の DIMM の合計メモリ容量とチャンネル B の DIMM の合計メモリ容量が同じ場合、システムはより高性能なデュアル チャンネル モードで動作します。両方のチャンネルで、取り付ける DIMM の性能やデバイス自体の幅が異なっても構いません。たとえば、チャンネル A に 512 MB の DIMM が 2 つ、チャンネル B に 1 GB の DIMM が 1 つ取り付けられている場合、システムはデュアル チャンネル モードで動作します。
- チャンネル A の DIMM の合計メモリ容量とチャンネル B の DIMM の合計メモリ容量が同じでない場合、システムはフレックス モードで動作します。フレックス モードでは、最も容量の小さいメ

メモリが取り付けられているチャンネルがデュアルチャンネルに割り当てられるメモリの総量を表し、残りはシングルチャンネルに割り当てられます。速度を最高にするには、最大のメモリ容量が2つのチャンネルに行き渡るようにチャンネルのバランスをとる必要があります。1つのチャンネルのメモリ容量が他方のチャンネルのメモリ容量よりも多い場合、多い方をチャンネルAに割り当てる必要があります。たとえば、ソケットに1個の1GB DIMM、3個の512MB DIMMを取り付ける場合は、チャンネルAに1GB DIMMと1個の512MB DIMMを取り付け、チャンネルBに2個の512MB DIMMを取り付ける必要があります。このように構成すると、2GBがデュアルチャンネルとして使用され、512MBがシングルチャンネルとして使用されます。

- どのモードでも、最高動作速度はシステム内で最も動作の遅いDIMMによって決定されます。

DIMMの取り付け

△ **注意：** メモリモジュールを取り付けまたは取り外す場合は、電源コードを抜いて電力が放電するまで約30秒待機してから、作業を行う必要があります。コンピュータが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、メモリモジュールには常に電気が流れています。電気が流れている状態でメモリモジュールの着脱を行うと、メモリモジュールまたはシステムボードが完全に破損するおそれがあります。システムボードのランプが点灯している場合は、まだ電気が流れています。

お使いのメモリモジュールソケットの接点には、金メッキが施されています。メモリを増設する際に、接点の金属が異なるときに生じる酸化や腐食を防ぐため、メモリモジュールは金メッキのものを使用してください。

静電気の放電によって、コンピュータやオプションカードの電子部品が破損することがあります。以下の作業を始める前に、アースされた金属面に触れるなどして、身体にたまった静電気を放電してください。詳しくは、[50ページの「静電気対策」](#)を参照してください。

メモリモジュールを取り扱う際は、金属製の接点に触れないでください。触れると、モジュールが破損するおそれがあります。

1. コンピュータが開かれないよう保護しているセキュリティデバイスをすべて取り外します。
2. ディスケットやCDなどのすべてのリムーバブルメディアをコンピュータから取り出します。
3. オペレーティングシステムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータおよび外付けデバイスの電源をすべて切ります。
4. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピュータからすべての外付けデバイスを取り外します。

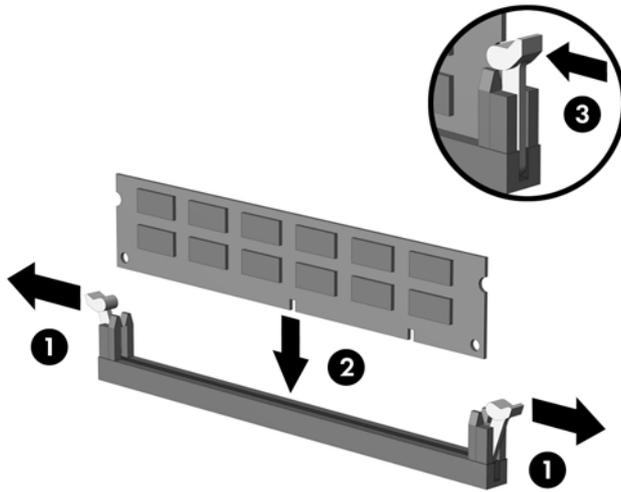
△ **注意：** メモリモジュールを取り付けまたは取り外す場合は、電源コードを抜いて電力が放電するまで約30秒待機してから、作業を行う必要があります。コンピュータが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、メモリモジュールには常に電気が流れています。電気が流れている状態でメモリモジュールの着脱を行うと、メモリモジュールまたはシステムボードが完全に破損するおそれがあります。システムボードのランプが点灯している場合は、まだ電気が流れています。

5. コンピュータのアクセスパネルを取り外します。
6. システムボード上のメモリモジュールソケットの位置を確認します。

△ **警告！** 火傷の危険がありますので、必ず、本体内部の温度が十分に下がっていることを確認してから、次の手順に進んでください。

7. メモリ モジュール ソケットの両方のラッチを開き (1)、メモリ モジュールをソケットに差し込みます (2)。

図 2-6 DIMM の取り付け



注記： メモリ モジュールは、一方向にのみ取り付け可能です。メモリ モジュールのノッチ (切り込み) をソケットのタブに合わせます。

DIMM は、黒い XMM1 ソケットに取り付ける必要があります。

最適なパフォーマンスが得られるようにするには、チャンネル A とチャンネル B のメモリ容量が可能な限り同じになるように、メモリをソケットに取り付けます。詳しくは、[14 ページの「DIMM ソケットへの取り付け」](#)を参照してください。

8. DIMM モジュールをしっかりとソケットに押し入れて、完全に挿入された状態で正しい位置に固定されていることを確認します。メモリの損傷を防ぐため、DIMM モジュールをソケットの奥まで完全に押し込み、ソケット内で平らになるように取り付ける必要があります。ラッチが閉じていること (3) を確認します。
9. 取り付けるすべてのモジュールに対して、手順 7 および手順 8 を繰り返します。
10. コンピュータのアクセス パネルを取り付けなおします。
11. 電源コードおよびすべての外付けデバイスを接続しなおして、コンピュータの電源を入れます。コンピュータの電源を入れたときに、増設したメモリが自動的に認識されます。
12. アクセス パネルを取り外すときに外したセキュリティ デバイスをすべて取り付けなおします。

拡張カードの取り外しまたは取り付け

お使いのコンピュータには、最大 17.5 cm の長さの拡張カードを取り付けることができる、標準の PCI 拡張スロット 1 基があります。また、PCI Express x1 拡張スロット 2 基と PCI Express x16 拡張スロット 1 基もあります。

図 2-7 拡張スロットの位置

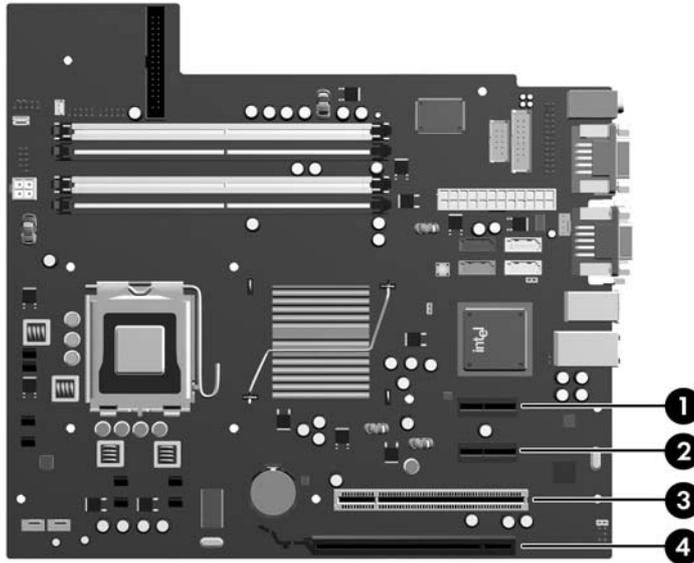


表 2-2 拡張スロットの位置

| 番号 | 説明 |
|----|------------------------|
| 1 | PCI Express x1 拡張スロット |
| 2 | PCI Express x1 拡張スロット |
| 3 | PCI 拡張スロット |
| 4 | PCI Express x16 拡張スロット |

注記： PCI Express x16 拡張スロットには、PCI Express x1、x4、x8、または x16 の拡張カードを取り付けることができます。

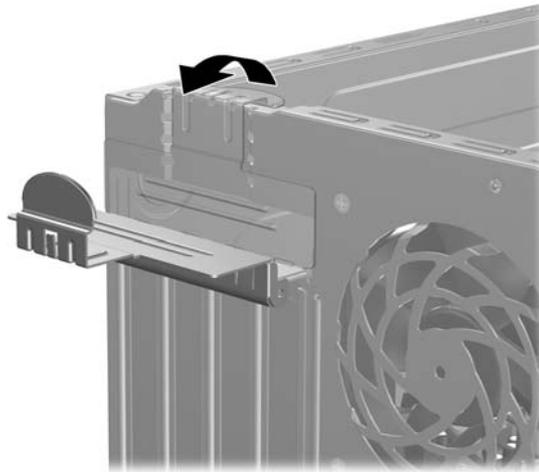
拡張カードの取り外し、交換、または増設を行うには、以下の手順で操作します。

1. コンピュータが開かれないよう保護しているセキュリティ デバイスをすべて取り外します。
2. ディスケットや CD などのすべてのリムーバブル メディアをコンピュータから取り出します。
3. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータおよび外付けデバイスの電源をすべて切ります。
4. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピュータからすべての外付けデバイスを取り外します。

△ **注意：** システムが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、システム ボードには常に電気が流れています。コンピュータの内部部品の損傷を防ぐため、必ず電源コードを抜いてください。

5. コンピュータのアクセス パネルを取り外します。
6. システム ボード上の空いている適切な拡張ソケット、およびそれに対応するコンピュータのシャーシ背面にある拡張スロットの位置を確認します。
7. 拡張カード ブラケットおよび拡張スロット カバーは、コンピュータ背面のスロット カバーにあるロックで所定の位置に固定されています。ロック上部のタブを引き上げ、ロックを回転させて開きます。

図 2-8 スロット カバーのロックを開く

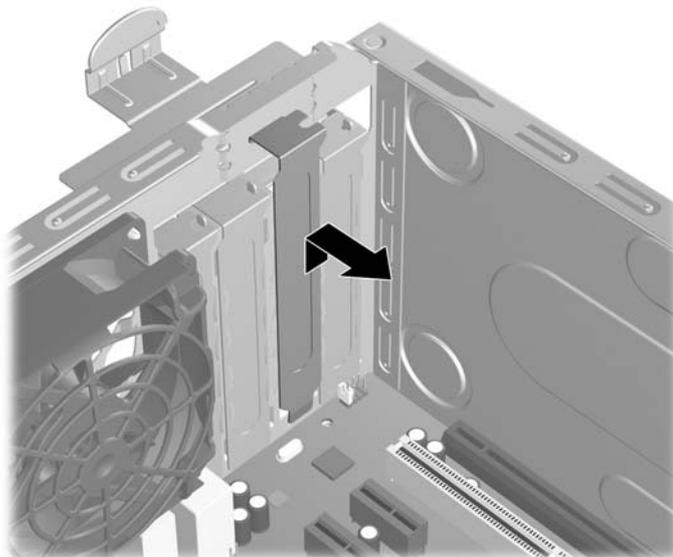


8. 新しい拡張カードを取り付ける前に、拡張スロット カバーまたは装着されている拡張カードを取り外します。

 **注記：** 取り付けられている拡張カードを取り外す前に、拡張カードに接続されているすべてのケーブルを取り外します。

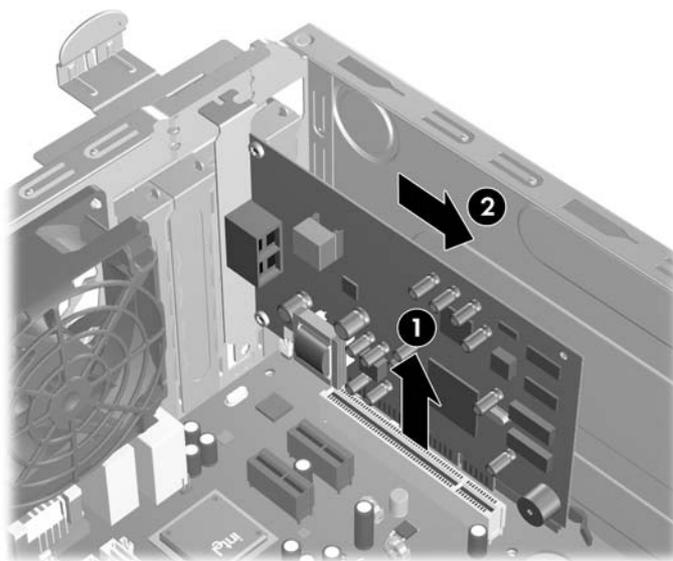
- a. 拡張カードを空いているソケットに取り付ける場合は、シャーシ背面の適切な拡張スロットカバーを取り外します。スロットカバーを引き上げ、シャーシ内部から取り出します。

図 2-9 拡張スロット カバーの取り外し



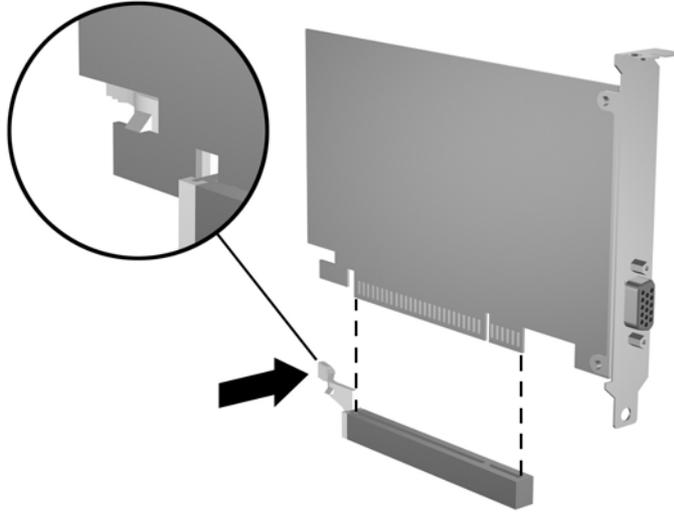
- b. 標準の PCI カードを取り外す場合は、カードの両端を持ち、コネクタがスロットから抜けるまで、カードを前後に注意深く軽く揺さぶりながら引き抜きます。拡張カードをソケットから引き上げ (1)、シャーシ内部から離すようにして (2) シャーシの枠から取り外します。このとき、カードが他のコンポーネントと接触して傷が付かないようにしてください。

図 2-10 標準の PCI 拡張カードの取り外し



- c. PCI Express x16 カードを取り外す場合は、拡張ソケットの後部にある留め具をカードから引き離し、コネクタがスロットから抜けるまで、カードを前後に注意深く軽く揺さぶりながら引き抜きます。拡張カードをソケットから引き上げ、シャーシ内部から離すようにしてシャーシの枠から取り外します。このとき、カードが他のコンポーネントと接触して傷が付かないようにしてください。

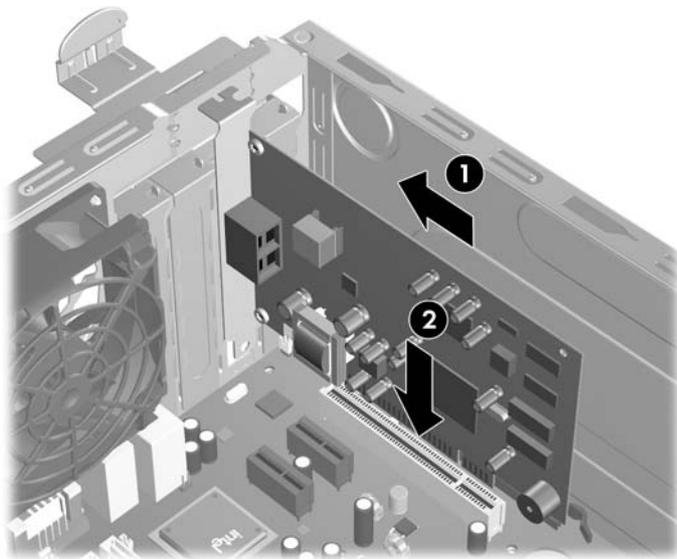
図 2-11 PCI Express x16 拡張カードの取り外し



9. 取り外したカードを、静電気の影響を受けない容器に保管します。
10. 新しい拡張カードを取り付けない場合は、空いたスロットを閉じるために、拡張スロット カバーを取り付けます。
- △ **注意：** 拡張カードを取り外したら、コンピュータ内部の温度が上がりすぎないようにするために、新しいカードまたは拡張スロット カバーと交換してください。

11. 新しい拡張カードを取り付けるには、システム ボードにある拡張ソケットのすぐ上の位置でカードを持ち、シャーシの背面に向かってカードを動かして (1)、カードのブラケットをシャーシの背面の空いているスロットの位置に合わせます。カードがシステム ボードの拡張ソケットに入るように押し下げます (2)。

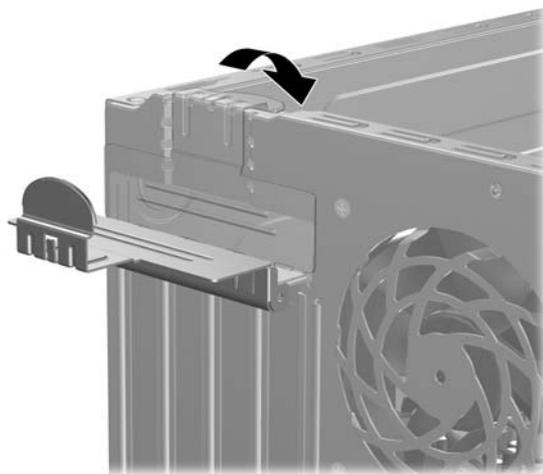
図 2-12 拡張カードの取り付け



☞ **注記：** 拡張カードを取り付ける場合は、カードをしっかりと押して、コネクタ全体が拡張カードスロットに正しく収まるようにしてください。

12. スロット カバーのロックを回転させて閉じ、所定の位置にしっかりと固定されていることを確認します。

図 2-13 拡張カードおよびスロット カバーの固定



13. 必要に応じて、取り付けしたカードに外部ケーブルを接続します。また、必要に応じて、システム ボードに内部ケーブルを接続します。
14. コンピュータのアクセス パネルを取り付けなおします。
15. 電源コードおよびすべての外付けデバイスを接続しなおして、コンピュータの電源を入れます。

16. アクセス パネルを取り外すときに外したセキュリティ デバイスをすべて取り付けなおします。
17. 必要な場合は、コンピュータを再設定します。[コンピュータ セットアップ (F10)]ユーティリティの使用方法について詳しくは、『コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ ガイド』を参照してください。

ドライブの位置

図 2-14 ドライブの位置

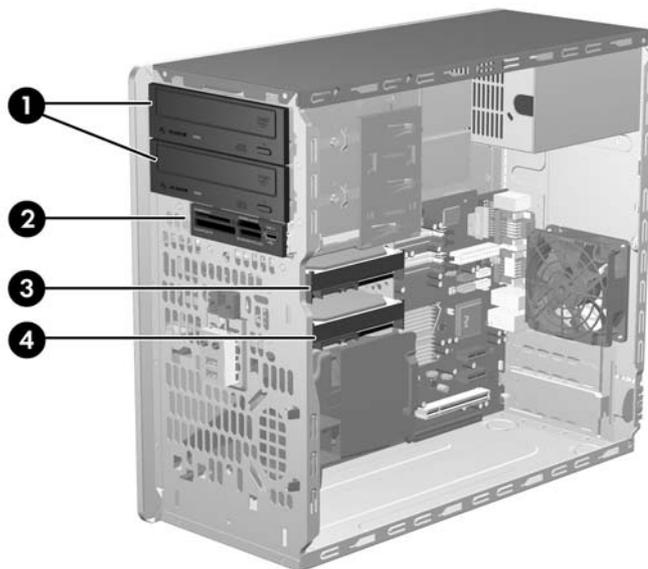


表 2-3 ドライブの位置

| | |
|---|---|
| 1 | 2つの5.25インチ外付けドライブベイ：オプションドライブ用（図はオプションドライブ） |
| 2 | 3.5インチ外付けドライブベイ：オプションドライブ用（図はメディアカードリーダー） |
| 3 | メイン3.5インチ内蔵ハードディスクドライブベイ |
| 4 | オプションのハードディスクドライブ用のセカンダリ3.5インチ内蔵ハードディスクドライブベイ |

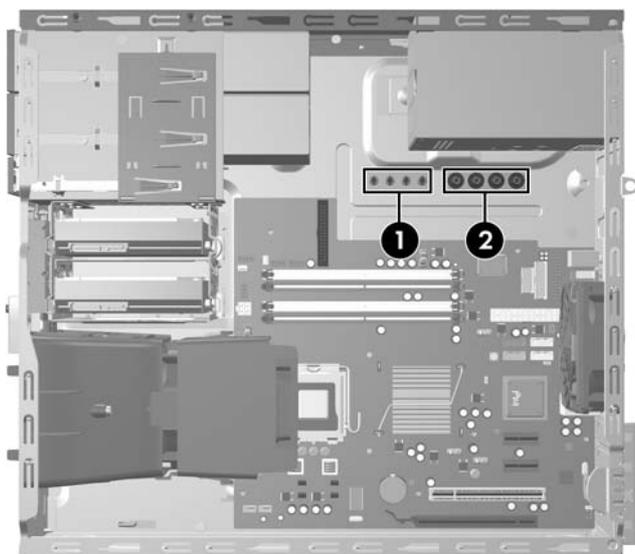
コンピュータに取り付けられている記憶装置の種類、サイズ、および容量を確認するには、[コンピュータ セットアップ (F10)]ユーティリティを実行します。詳しくは、『コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ ガイド』を参照してください。

ドライブの増設

ドライブを増設するには、以下のガイドラインに従ってください。

- 最初に取り付けるシリアル ATA (SATA) ハードディスク ドライブは、システム ボード上で SATA0 と書かれている暗い青色のプライマリ SATA コネクタに接続します。
- 最初の SATA オプティカル ドライブは、システム ボード上で SATA1 と書かれている白色の SATA コネクタに接続します。
- 必ず、先に暗い青色の SATA0 コネクタと白色の SATA1 コネクタに取り付けます。明るい青色の SATA4 コネクタとオレンジ色の SATA5 コネクタには、その後で取り付けます。
- 第2の SATA オプティカル ドライブを、オレンジ色の SATA5 コネクタに取り付けます。
- 追加の SATA ハードディスク ドライブを、システム ボード上で次に使用可能な (何も取り付けられていない) SATA コネクタに、SATA0、SATA1、SATA5、SATA4 の順序でデータ ケーブルを接続します。
- ディスケット ドライブを FLOPPY と書かれているコネクタに接続します。
- メディア カード リーダーは、MEDIA と書かれている USB コネクタに接続します。
- このシステムは、パラレル ATA (PATA) オプティカル ドライブまたは PATA ハードディスク ドライブはサポートしていません。
- 1/3 ハイトまたは 1/2 ハイトのどちらのドライブも取り付けることができます。
- ドライブをドライブ ケージの正しい位置で支えるために、ガイド用ネジを取り付ける必要があります。予備のガイド用ネジがシャーシの内部 (電源装置の横) に付属しています。ハードディスク ドライブにはガイド用 No.6-32 インチ分離取り付けネジを使用します。その他のすべてのドライブには M3 メートル式ネジ (ミリネジ) を使用します。ミリネジ (1) の色は黒です。ガイド用 No.6-32 インチ分離取り付けネジ (2) の色は銀と青です。

図 2-15 予備のガイド用ネジの位置



△ **注意：** データの損失およびコンピュータまたはドライブの破損を防ぐために、次の点に注意してください。

ドライブの着脱は、必ず、すべてのアプリケーションおよびオペレーティング システムを終了し、コンピュータの電源を切って電源コードを抜いてから行ってください。コンピュータの電源が入っている場合またはスタンバイ モードになっている場合は、絶対にドライブを取り外さないでください。

ドライブを取り扱う前に、身体にたまった静電気を放電してください。ドライブを持つ際は、コネクタに手を触れないようにしてください。静電気対策について詳しくは、[50 ページの「静電気対策」](#)を参照してください。

ドライブは慎重に取り扱い、絶対に落とさないでください。

ドライブを挿入するときは、無理な力を加えないでください。

ハードディスク ドライブは、液体や高温にさらさないようにしてください。また、モニターやスピーカなどの磁気を発生する装置から遠ざけてください。

ドライブを郵送するときは、発泡ビニール シートなどの緩衝材で梱包し、梱包箱の表面に「コワレモノ—取り扱い注意」と明記してください。

システムボードのドライブ接続

システムボードドライブコネクタの位置については、以下の図と表を参照してください。

図 2-16 システムボードのドライブ接続

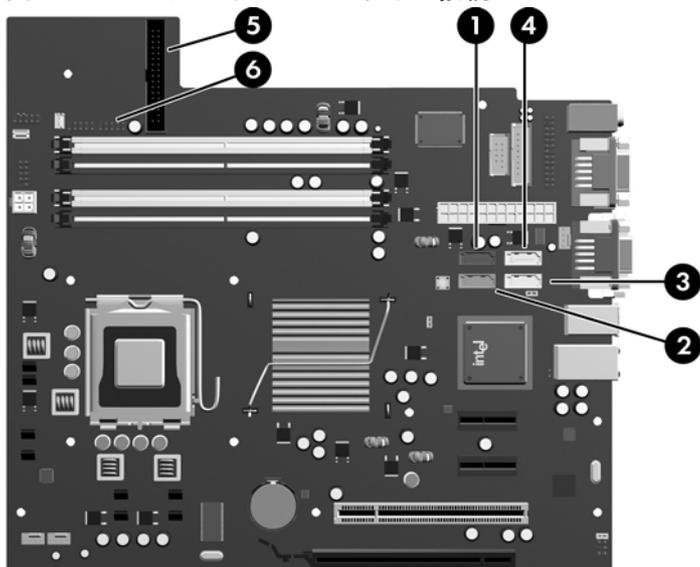


表 2-4 システムボードのドライブ接続

| 番号 | システムボードコネクタ | システムボードラベル | 色 |
|----|-------------|------------|------|
| 1 | SATA0 | SATA0 | 濃い青 |
| 2 | SATA1 | SATA1 | 白 |
| 3 | SATA4 | SATA4 | 薄い青 |
| 4 | SATA5 | SATA5 | オレンジ |
| 5 | ディスクドライブ | FLOPPY | 黒 |
| 6 | メディアカードリーダー | MEDIA | 黒 |

外付け 5.25 インチ ドライブまたは 3.5 インチ ドライブの取り外し

△ **注意：** コンピュータからドライブを取り外す前に、すべてのリムーバブル メディアを取り外しておく必要があります。

1. コンピュータが開かれないよう保護しているセキュリティ デバイスをすべて取り外します。
2. ディスケットや CD などのすべてのリムーバブル メディアをコンピュータから取り出します。
3. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータおよび外付けデバイスの電源をすべて切ります。
4. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピュータからすべての外付けデバイスを取り外します。

△ **注意：** システムが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、システム ボードには常に電気が流れています。コンピュータの内部部品の損傷を防ぐため、必ず電源コードを抜いてください。

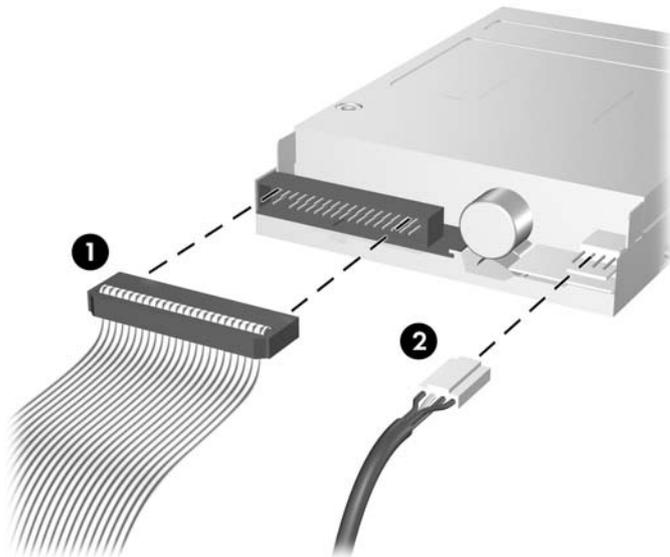
5. コンピュータのアクセス パネルとフロント パネルを取り外します。
6. 下の図に示すように、ドライブ ケーブルを取り外します。
 - a. 5.25 インチ オプティカル ドライブを取り外す場合は、ドライブの背面から電源ケーブル (1) とデータ ケーブル (2) を抜き取ります。

図 2-17 オプティカル ドライブ ケーブルの取り外し



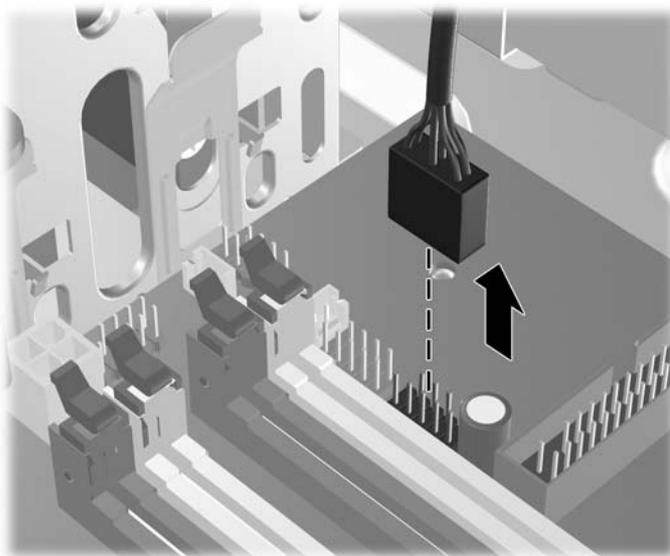
- b. ディスケットドライブを取り外す場合は、ドライブの背面からデータ ケーブル (1) と電源ケーブル (2) を抜き取ります。

図 2-18 ディスケットドライブケーブルの取り外し



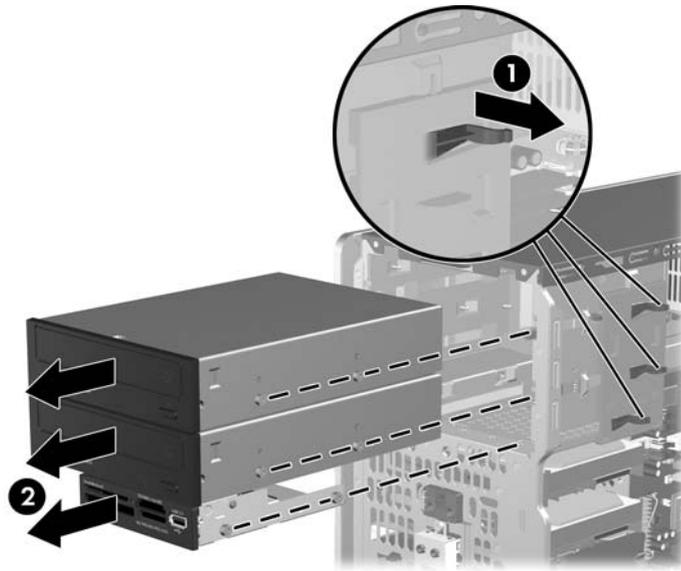
- c. メディアカードリーダーを取り外す場合は、システムボードから USB ケーブルを抜き取ります。

図 2-19 メディアカードリーダーケーブルの取り外し



7. ドライブは、リリース タブの付いたラッチ ドライブ ブラケットでドライブ ベイに固定されています。取り外すドライブのラッチ ドライブ ブラケット上のリリース タブを持ち上げて (1)、ドライブをドライブ ベイからスライドさせます (2)。

図 2-20 外付けドライブの取り外し



8. 取り外したドライブから 4 本のガイド用ネジ (両側に 2 本ずつ) を外します。新しいドライブを取り付ける際にこれらのネジが必要になります。

外付け 5.25 インチ ドライブまたは 3.5 インチ ドライブの取り付け

 **注記：** このシステムは、パラレル ATA (PATA) オプティカルドライブをサポートしていません。

1. 取り外したドライブから外した 4 本のガイド用ネジ (両側に 2 本ずつ) を、新しいドライブに取り付けます。このネジによって、ドライブがベイ内で適切な位置に収まります。必要な場合は、予備のガイド用ネジがシャーシの内部 (電源装置の横) に付属しています。

図 2-21 ガイド用ネジの取り付け (図はオプティカルドライブ)

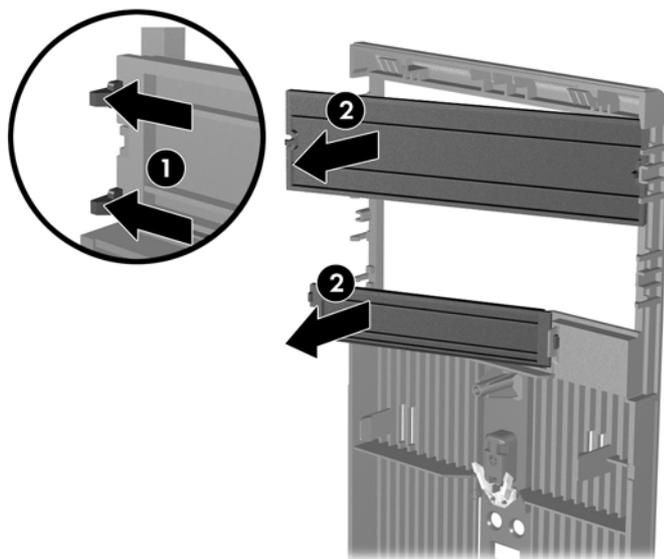


 **注記：** オプティカルドライブ、ディスクドライブ、およびメディアカードリーダーにはガイド用 M3 メートル式ネジ (ミリネジ) を使用します。予備のガイド用ミリネジ 4 本がシャーシの内部 (電源装置の横) に付属しています。ミリネジの色は黒です。予備のガイド用 M3 メートル式ネジの位置については、[23 ページの「ドライブの増設」](#)を参照してください。

ドライブを交換する場合は、元のドライブの 4 本のネジを新しいドライブに取り付けます。

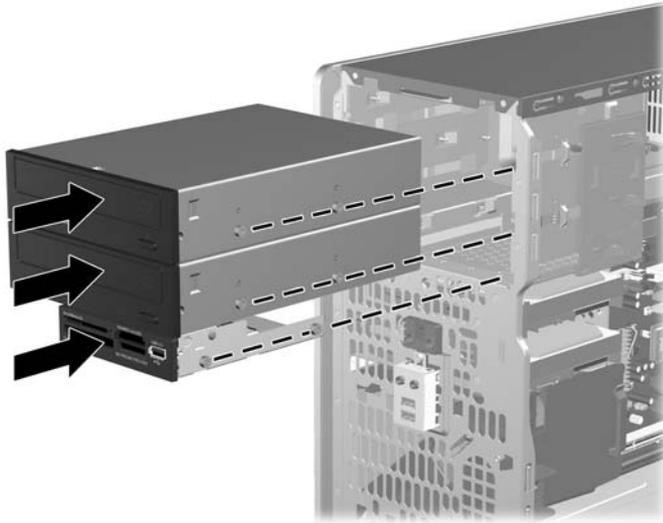
2. 必要に応じて、適切なドライブ ベイ カバーをフロント パネルから取り外します。ドライブ ベイ カバーを取り外すには、2 つの固定用タブをフロント パネルの外側左方向に向けて押し (1)、パネルの内側に向けてカバーを引き出します (2)。

図 2-22 ドライブ ベイ カバーの取り外し



3. ガイド用ネジがガイド用のスロットとかみ合っていることを確認し、ドライブが所定の位置に収まるまでドライブをドライブベイにスライドさせます。

図 2-23 ドライブ ケージへ外付けドライブをスライドさせる



4. 下の図に示すように、電源ケーブルとデータ ケーブルをドライブに接続します。
 - a. オプティカル ドライブを取り付ける場合は、ドライブの背面に電源ケーブル (1) とデータ ケーブル (2) を接続します。

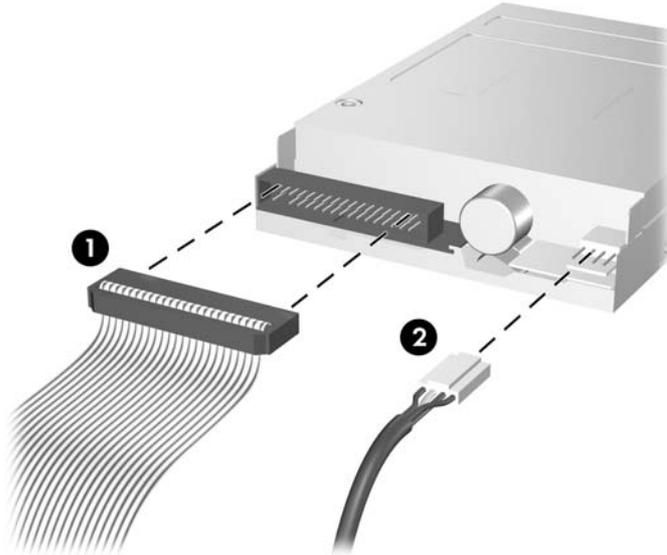
図 2-24 オプティカル ドライブ ケーブルの接続



△ **注意：** SATA データ ケーブルは、半径が 30 mm 未満になるような急角度で折り曲げないでください。きつく折り曲げると内部のワイヤが断線するおそれがあります。

- b. ディスケットドライブを取り付ける場合は、ドライブの背面にデータ ケーブル (1) と電源ケーブル (2) を接続します。

図 2-25 ディスケットドライブケーブルの接続



5. 新しいドライブを取り付ける場合は、データ ケーブルのもう一方の端を、適切なシステム ボード コネクタに接続します。

注記： SATA オプティカルドライブを取り付ける場合、1つ目のオプティカルドライブは、システムボード上の SATA1 と書かれている白色の SATA コネクタに接続します。2つ目のオプティカルドライブは、SATA5 と書かれているオレンジ色の SATA コネクタに接続します。

ディスクドライブを取り付ける場合は、システムボード上の FLOPPY と書かれているコネクタに接続します。

メディアカードリーダーを取り付ける場合は、システムボード上の MEDIA と書かれている USB コネクタとメディアカードリーダーを USB ケーブルで接続します。

システムボードドライブコネクタの図と表については、[25 ページの「システムボードのドライブ接続」](#)を参照してください。

6. フロントパネルおよびコンピュータのアクセスパネルを取り付けなおします。
7. 電源コードおよびすべての外付けデバイスを接続しなおして、コンピュータの電源を入れます。
8. アクセスパネルを取り外すときに外したセキュリティデバイスをすべて取り付けなおします。

内蔵 3.5 インチ ハードディスク ドライブの取り外し

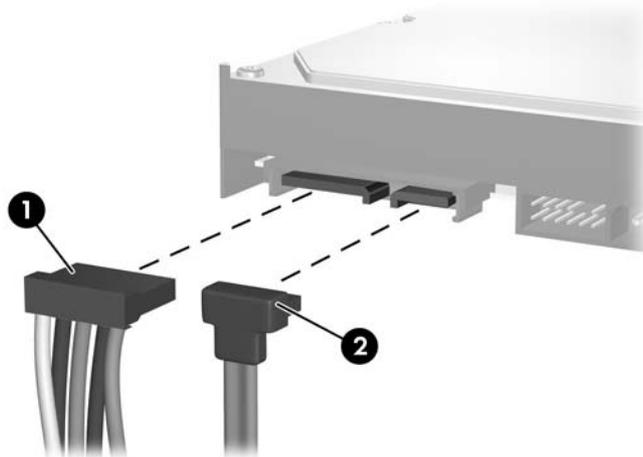
 **注記：** ハードディスク ドライブを取り外すときは、新しいハードディスク ドライブにデータを移動できるように、必ず事前にドライブ内のデータをバックアップしておいてください。また、メインハードディスク ドライブを交換する場合は、リカバリ ディスク セットを作成し、オペレーティング システムとソフトウェア ドライバ、およびコンピュータにプリインストールされていたその他のソフトウェア アプリケーションを復元する必要があります。この CD セットがない場合は、**[スタート]→[HP Backup and Recovery]**の順に選択して、直ちに作成します。

1. コンピュータが開かれないよう保護しているセキュリティ デバイスをすべて取り外します。
2. ディスケットや CD などのすべてのリムーバブル メディアをコンピュータから取り出します。
3. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータおよび外付けデバイスの電源をすべて切ります。
4. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピュータからすべての外付けデバイスを取り外します。

 **注意：** システムが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、システム ボードには常に電気が流れています。コンピュータの内部部品の損傷を防ぐため、必ず電源コードを抜いてください。

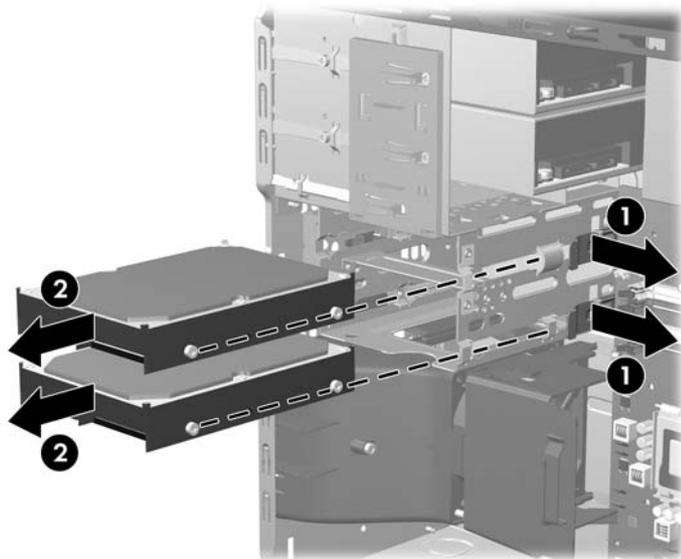
5. コンピュータのアクセス パネルとフロント パネルを取り外します。
6. 電源ケーブル (1) およびデータ ケーブル (2) をハードディスク ドライブの背面から抜き取ります。

図 2-26 ハードディスク ドライブ ケーブルの取り外し



7. リリース タブをドライブから離すようにして引っ張り (1)、ドライブをベイの外にスライドさせて (2) 取り出します。

図 2-27 ハードディスク ドライブの取り外し



8. 取り外したドライブから 4 本のガイド用ネジ (両側に 2 本ずつ) を外します。新しいドライブを取り付ける際にこれらのネジが必要になります。

内蔵 3.5 インチ ハードディスク ドライブの取り付け

 **注記：** このシステムは、パラレル ATA (PATA) ハードディスク ドライブをサポートしていません。

1. 取り外したドライブから外した 4 本のガイド用ネジ (両側に 2 本ずつ) を、新しいドライブに取り付けます。このネジによって、ドライブがベイ内で適切な位置に収まります。予備のガイド用ネジがシャーシの内部 (電源装置の横) に付属しています。

図 2-28 ハードディスク ドライブのガイド用ネジの取り付け

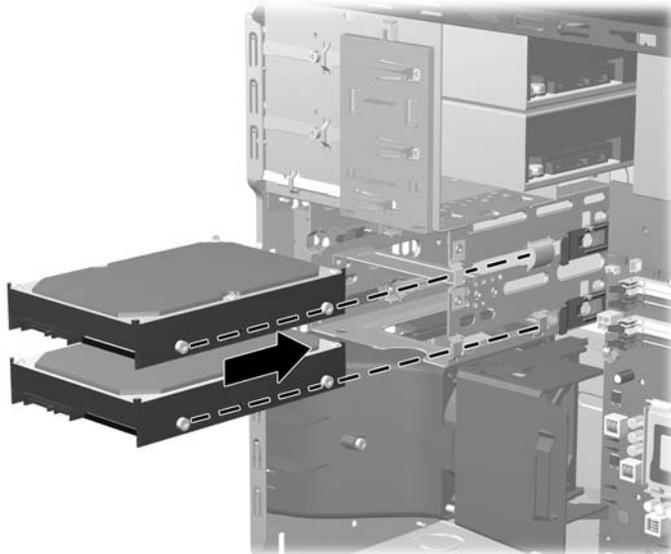


 **注記：** ハードディスク ドライブにはガイド用 No.6-32 インチ分離取り付けネジを使用します。予備のガイド用ネジ 4 本がシャーシの内部 (電源装置の横) に付属しています。ガイド用分離取り付けネジの色は銀と青です。予備のガイド用 No.6-32 インチ分離取り付けネジの位置については、[23 ページの「ドライブの増設」](#)を参照してください。

ドライブを交換する場合は、元のドライブの 4 本のネジを新しいドライブに取り付けます。

2. ガイド用ネジがガイド用のスロットとかみ合っていることを確認し、ドライブが所定の位置に収まるまでドライブをドライブ ベイにスライドさせます。上部のベイはメイン ハードディスク ドライブ用です。下部のベイはオプションのセカンダリ ハードディスク ドライブ用です。

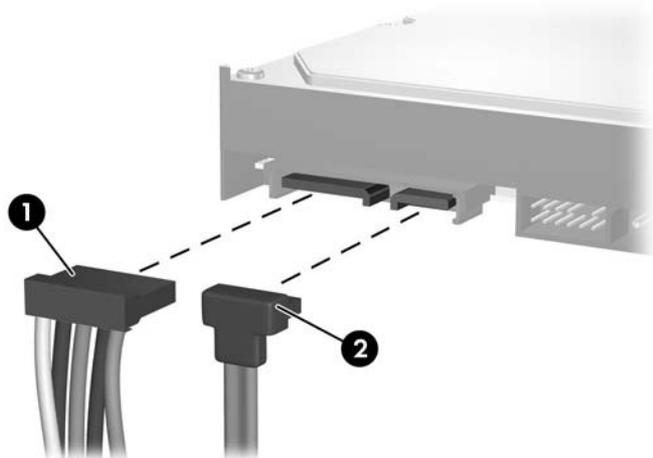
図 2-29 ドライブ ベイにハードディスク ドライブをスライドさせる



3. 電源ケーブル (1) とデータ ケーブル (2) を、ハードディスク ドライブの背面に接続します。

☞ **注記：** メインハードディスク ドライブを取り付ける場合は、「P4」というラベルが付いた電源コネクタを使います。セカンダリハードディスク ドライブを取り付ける場合は、「P3」 というラベルが付いた電源コネクタを使います。

図 2-30 ハードディスク ドライブ ケーブルの接続



△ **注意：** SATA データ ケーブルは、半径が 30 mm 未満になるような急角度で折り曲げないでください。きつく折り曲げると内部のワイヤが断線するおそれがあります。

4. 新しいドライブを取り付ける場合は、データ ケーブルのもう一方の端を、適切なシステム ボードコネクタに接続します。

☞ **注記：** パフォーマンスへの悪影響を防ぐため、SATA ハードディスク ドライブが 1 台だけの場合は、SATA0 と書かれている暗い青色のコネクタにハードディスク ドライブのデータ ケーブルを接続してください。第 2 のハードディスク ドライブを追加する場合は、システム ボード上で次に使用可能な (何も取り付けられていない) SATA コネクタに、データ ケーブルを SATA0、SATA1、SATA5、SATA4 の順序で接続します。

5. 電源ケーブルとデータ ケーブルをそれぞれのケーブル固定器具に通します。
6. フロント パネルおよびコンピュータのアクセス パネルを取り付けなおします。
7. 電源コードおよびすべての外付けデバイスを接続しなおして、コンピュータの電源を入れます。
8. アクセス パネルを取り外すときに外したセキュリティ デバイスをすべて取り付けなおします。

☞ **注記：** メインハードディスク ドライブを交換する場合は、リカバリ ディスク セットを使用して、オペレーティング システムとソフトウェア ドライバ、およびコンピュータにプリインストールされていたその他のソフトウェア アプリケーションを復元する必要があります。

リムーバブル 3.5 インチ SATA ハードディスク ドライブの取り外しおよび取り付け

一部のモデルでは、リムーバブル SATA ハードディスク ドライブのエンクロージャが 5.25 インチ外付けドライブ ベイに備えられています。ハードディスク ドライブは、ドライブ ベイから素早く簡単に取り外し可能なキャリアに格納されています。キャリアのドライブの取り外しと取り付けを行うには、以下の手順で操作します。

 **注記：** ハードディスク ドライブを取り外すときは、新しいハードディスク ドライブにデータを移動できるように、必ず事前にドライブ内のデータをバックアップしておいてください。また、メインハードディスク ドライブを交換する場合は、リカバリ ディスク セットを作成し、オペレーティング システムとソフトウェア ドライバ、およびコンピュータにプリインストールされていたその他のソフトウェア アプリケーションを復元する必要があります。この CD セットがない場合は、**[スタート]→[HP Backup and Recovery]**の順に選択して、直ちに作成します。

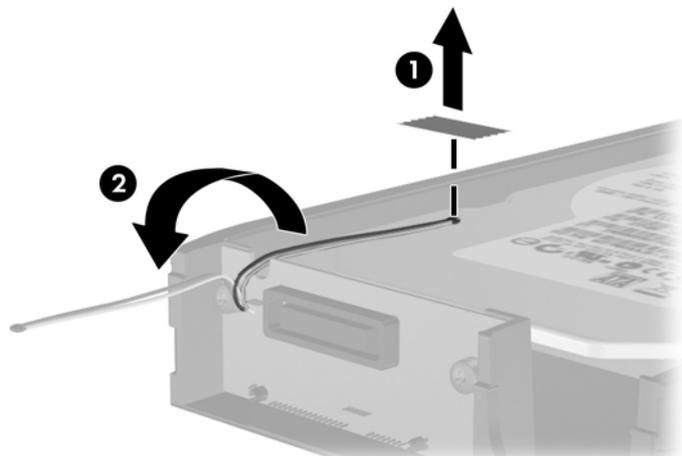
1. 付属の鍵を使用してハードディスク ドライブ キャリアの固定を解除し、キャリアをエンクロージャから引き出します。
2. キャリアの背面からネジを取り外し (1)、キャリアからカバーの上部を引き出します (2)。

図 2-31 キャリアのカバーの取り外し



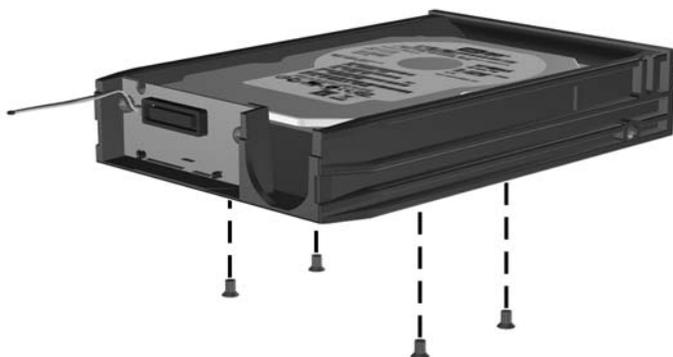
3. 温度センサをハードディスクドライブの上部に固定している粘着テープをはがし (1)、温度センサをキャリアから外します (2)。

図 2-32 温度センサの取り外し



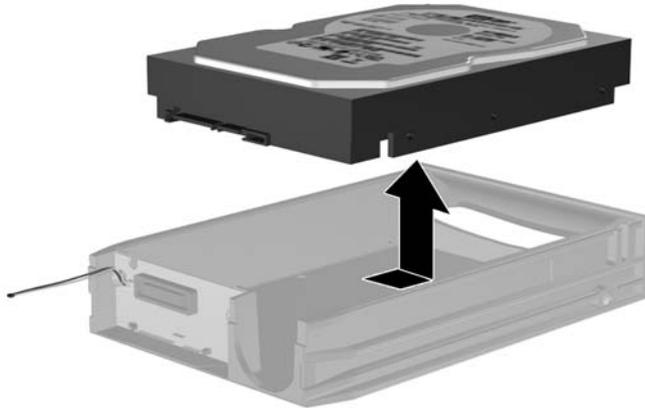
4. ハードディスクドライブのキャリアの下部から 4 本のネジを外します。

図 2-33 セキュリティネジの取り外し



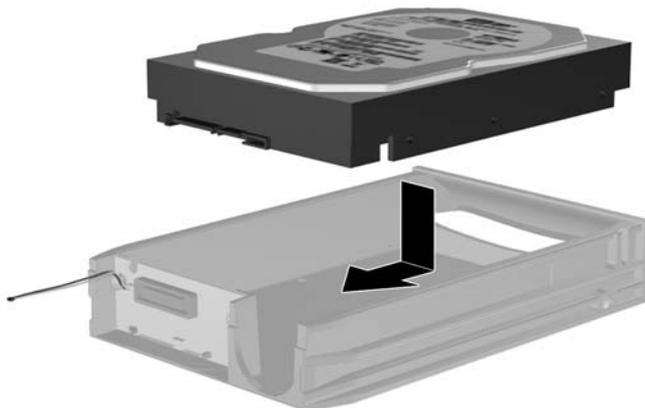
5. ハードディスク ドライブを後方にスライドさせてキャリアから抜き、次に上に持ち上げてキャリアから取り出します。

図 2-34 ハードディスク ドライブの取り外し



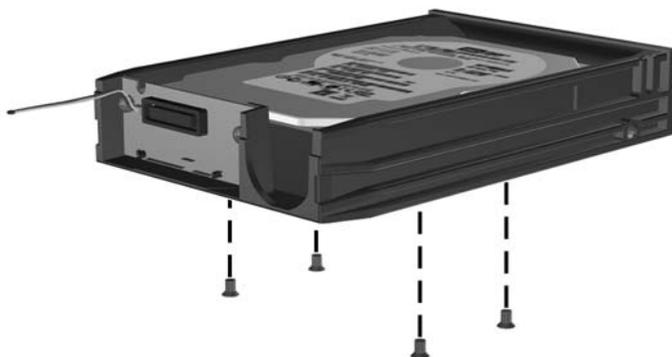
6. 新しいハードディスク ドライブをキャリアの中に入れ、ハードディスク ドライブをスライドさせ、キャリアの回路基板の SATA コネクタにしっかりと取り付けます。ハードディスク ドライブのコネクタが、キャリアの回路基板のコネクタに差し込まれていることを確認します。

図 2-35 ハードディスク ドライブの交換



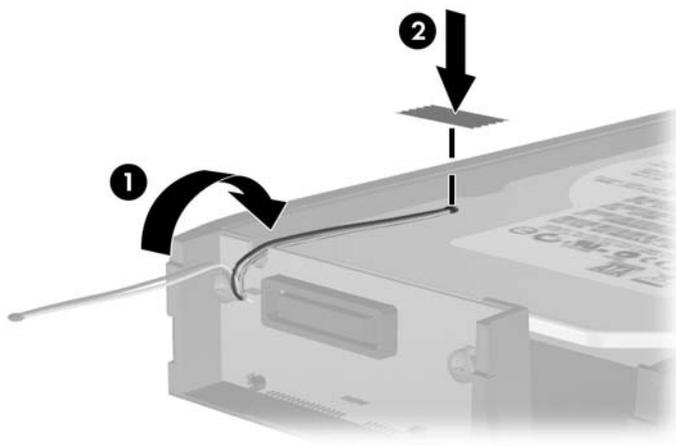
7. キャリアの下部の4本のネジを元の位置に締め、ドライブを所定の位置に確実に取り付けます。

図 2-36 セキュリティネジの再取り付け



8. 温度センサを、ハードディスクドライブのラベルに重ならない位置に置き (1)、粘着テープを使用してハードディスクドライブ上に貼り付けます (2)。

図 2-37 温度センサの再取り付け



9. キャリアのカバーをスライドさせて (1) キャリア背面のネジを元の位置に戻し、カバーを所定の位置に取り付けます (2)。

図 2-38 キャリアのカバーの再取り付け



10. コンピュータのエンクロージャの中にハードディスクドライブにスライドして入れ、付属の鍵を使用して固定します。

 **注記：** ハードディスクドライブに電力を供給するには、キャリアを固定する必要があります。

A 仕様

表 A-1 仕様

| | | |
|---|---------------|---------------|
| 寸法（横置き時） | | |
| 高さ | 19.9 インチ | 50.7 cm |
| 幅 | 7.0 インチ | 17.7 cm |
| 奥行き | 16.9 インチ | 42.9 cm |
| 質量（概算） | | |
| | 23.5 ポンド | 10.7 kg |
| 温度範囲 | | |
| 動作時 | 50 ~ 95° F | 10 ~ 35°C |
| 非動作時 | -22 ~ 140° F | -30 ~ 60°C |
| 相対湿度（結露せず） | | |
| 動作時 | 10 ~ 90% | 10 ~ 90% |
| 非動作時（38.7°C最高、湿球） | 5 ~ 95% | 5 ~ 95% |
| 動作保証高度（非圧縮） | | |
| 動作時 | 10,000 フィート | 3,048 m |
| 非動作時 | 30,000 フィート | 9,144 m |
| 注記： 動作温度は、継続的に直射日光の当たらない環境で、海拔 3,000 m まで 300 m ごとに 1.0°C下がります。最大変化率は 10°C/時です。取り付けられたオプションの種類および数によって、上限が異なります。 | | |
| 放熱効率 | | |
| 最大（標準 PS） | 1,575 BTU/時 | 397 kcal/時 |
| 通常（非動作時、標準 PS） | 307 BTU/時 | 77 kcal/時 |
| 最大（80 Plus PS） | 1280 BTU/時 | 323 kcal/時 |
| 通常（非動作時、80 Plus PS） | 239 BTU/時 | 60 kcal/時 |
| 電源 | | |
| | 115 V | 230 V |
| 動作電圧（標準 PS） ¹ | 90 ~ 132 VAC | 180 ~ 264 VAC |
| 動作電圧（80 Plus PS） | 90 ~ 264 VAC | 90 ~ 264 VAC |
| 定格電圧範囲（標準 PS） | 100 ~ 127 VAC | 200 ~ 240 VAC |
| 定格電圧範囲（80 Plus PS） | 100 ~ 240 VAC | 100 ~ 240 VAC |
| 周波数 | 50/60 Hz | 50/60 Hz |

表 A-1 仕様 (続き)

| 電源出力 | 300 W | 300 W |
|---------------------------------|-------------------|-------------------|
| 定格入力電流 (最大) ¹ | | |
| 標準 PS | 8 A (100 VAC の場合) | 4 A (200 VAC の場合) |
| 80 Plus PS | 4 A (100 VAC の場合) | 2 A (200 VAC の場合) |

¹ 標準電源装置は、電圧自動補正電源を採用しています。電圧自動補正機能は、230 V モードの場合のみ有効になります。この機能によって、欧州連合加盟国でこのシステムを使用する場合の CE マークの要件を満たしています。この電源では、入力電圧の選択スイッチを使用する必要があります。80 Plus 電源装置は、電圧自動補正電源を採用しています。この機能によって、欧州連合加盟国でこのシステムを使用する場合の CE マークの要件を満たしています。また、電圧自動補正電源の機能によって電圧選択スイッチが不要になるため、スイッチは搭載されていません。

B バッテリーの交換

お使いのコンピュータに付属のバッテリーは、リアルタイム クロックに電力を供給するためのものです。バッテリーは消耗品です。バッテリーを交換するときは、コンピュータに最初に取り付けられていたバッテリーと同等のバッテリーを使用してください。コンピュータに付属しているバッテリーは、3V のボタン型リチウム バッテリーです。

- △ **警告！** お使いのコンピュータには、二酸化マンガン リチウム バッテリーが内蔵されています。バッテリーの取り扱いを誤ると、火災や火傷などの危険があります。怪我することがないように、次の点に注意してください。

バッテリーを充電しないでください。

バッテリーを 60°C を超える場所に放置しないでください。

バッテリーを分解したり、つぶしたり、ショートさせたり、火中や水に投げたりしないでください。

交換用のバッテリーは、必ず HP が指定したものを使用してください。

- △ **注意：** バッテリーを交換する前に、コンピュータの CMOS 設定のバックアップを作成してください。バッテリーが取り出されたり交換されたりするときに、CMOS 設定がクリアされます。CMOS 設定のバックアップについては詳しくは、『コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ ガイド』を参照してください。

静電気の放電によって、コンピュータやオプションの電子部品が破損することがあります。以下の作業を始める前に、アースされた金属面に触れるなどして、身体にたまった静電気を放電してください。

- ☞ **注記：** リチウム バッテリーの寿命は、コンピュータを電源コンセントに接続することで延長できます。リチウム バッテリーは、コンピュータが外部電源に接続されていない場合にのみ使用されます。

HP では、使用済みの電子機器や HP 製インク カートリッジのリサイクルを推奨しています。日本のリサイクル プログラムについては詳しくは、<http://h50055.www5.hp.com/igp/supplies/recycling/hardware/jp/ja/index.asp> を参照してください。

1. コンピュータが開かれないよう保護しているセキュリティ デバイスをすべて取り外します。
2. ディスケットや CD などのすべてのリムーバブル メディアをコンピュータから取り出します。
3. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータおよび外付けデバイスの電源をすべて切ります。
4. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピュータからすべての外付けデバイスを取り外します。

- △ **注意：** システムが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、システム ボードには常に電気が流れています。コンピュータの内部部品の損傷を防ぐため、必ず電源コードを抜いてください。

5. コンピュータのアクセス パネルを取り外します。
6. システム ボード上のバッテリーおよびバッテリー ホルダの位置を確認します。

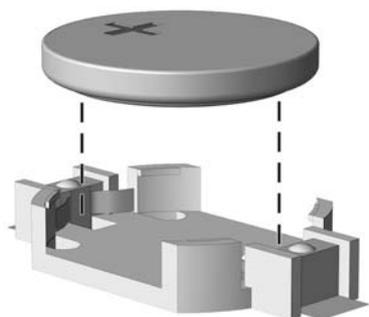
 **注記：** 一部のモデルのコンピュータでは、バッテリーを交換するときに、内部部品を取り外す必要があります。

7. システム ボード上のバッテリー ホルダの種類に応じて、以下の手順でバッテリーを交換します。

タイプ 1

- a. バッテリーをホルダから持ち上げて外します。

 **B-1** ボタン型バッテリーの取り出し（タイプ 1）

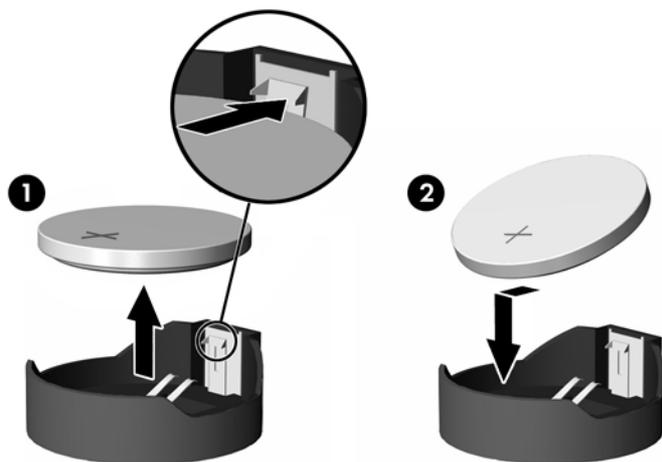


- b. 交換するバッテリーを、「+」と書かれている面を上にして正しい位置に装着します。バッテリーはバッテリー ホルダによって自動的に正しい位置に固定されます。

タイプ 2

- a. バッテリーをホルダから取り出すために、バッテリーの一方の端の上にある留め金を押し上げます。バッテリーが持ち上がったら、持ち上げて取り出します（1）。
- b. 新しいバッテリーを装着するには、交換するバッテリーを、「+」と書かれている面を上にしてホルダにスライドさせて装着します。バッテリーの一方の端が留め具の下に収まるまで、もう一方の端を押し下げます（2）。

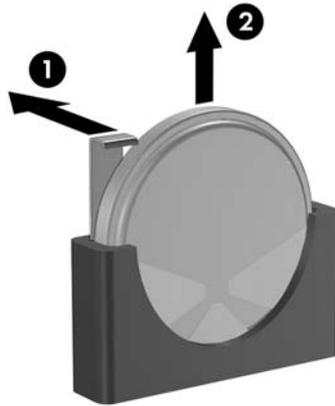
 **B-2** ボタン型バッテリーの取り出しと装着（タイプ 2）



タイプ 3

- a. バッテリーを固定しているクリップを後方に引いて (1)、バッテリーを取り出します (2)。
- b. 新しいバッテリーを挿入し、クリップを元の位置に戻します。

図 B-3 ボタン型バッテリーの取り出し (タイプ 3)



📖 **注記：** バッテリーの交換後、以下の手順で操作すると交換作業は完了です。

8. コンピュータのアクセス パネルを取り付けなおします。
9. 電源ケーブルを元のとおりに接続し、コンピュータの電源を入れます。
10. [コンピュータ セットアップ (F10)]ユーティリティを使用して、日付と時刻、パスワード、およびその他の必要なシステム セットアップを設定しなおします。『コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ ガイド』を参照してください。
11. アクセス パネルを取り外すときに外したセキュリティ デバイスをすべて取り付けなおします。

C 外付けセキュリティ デバイス

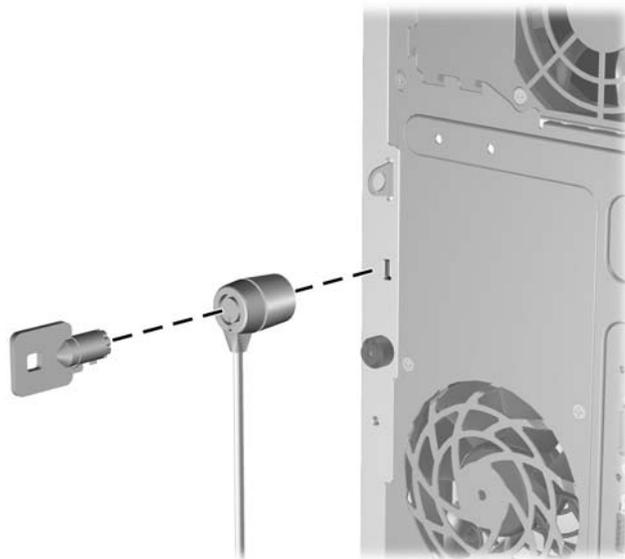
☞ **注記：** データセキュリティ機能について詳しくは、『コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ ガイド』および『デスクトップ マネジメントについて』を参照してください。また、<http://www.hp.com/jp>から入手できる『HP ProtectTools セキュリティ マネージャ ガイド』（一部のモデルのみ）も参照してください。

セキュリティ ロックの取り付け

以下の図および次ページの図に示すセキュリティ ロックは、コンピュータを保護するために使用できます。

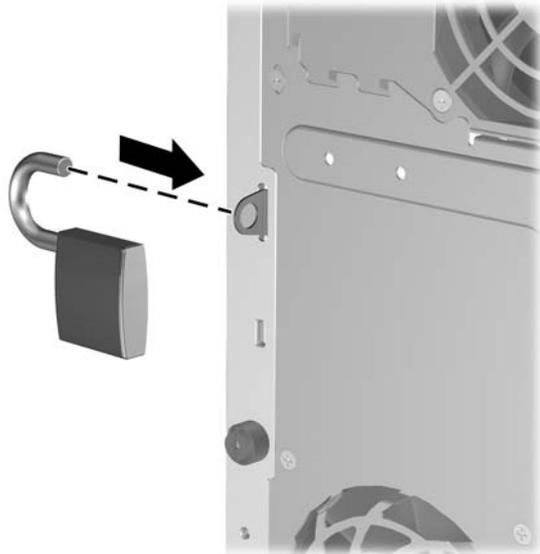
ケーブル ロック

図 C-1 ケーブル ロックの取り付け



南京錠

図 C-2 コンピュータの施錠



HP Business PC セキュリティ ロック

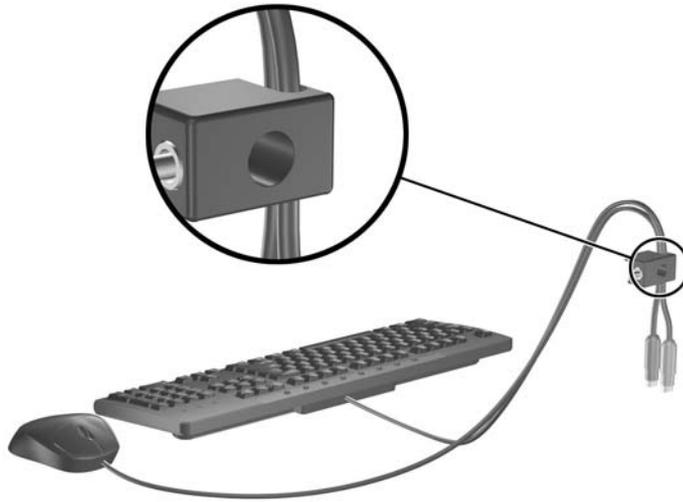
1. セキュリティ ケーブルを固定物に巻きつけます。

図 C-3 ケーブルの固定物への固定



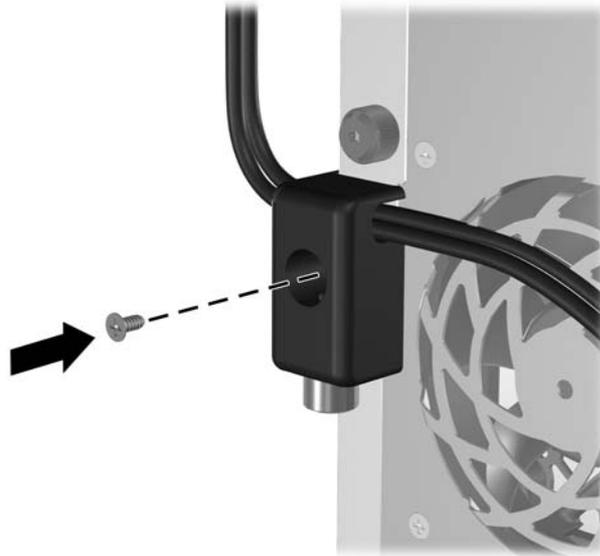
2. キーボードとマウスのケーブルを錠に通します。

図 C-4 キーボードとマウスのケーブルによる固定



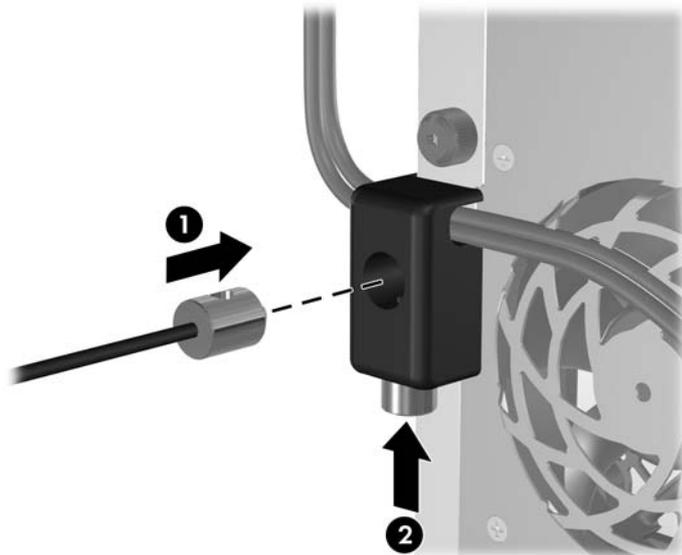
3. 付属のネジを使用して、錠をコンピュータ本体に固定します。

図 C-5 シャーシへのロックの取り付け



4. セキュリティ ケーブルの端の栓を差し込み (1)、ボタンを押し込んで (2) ロックを固定します。ロックの固定を解除するには、付属の鍵を使用します。

図 C-6 ロックの固定

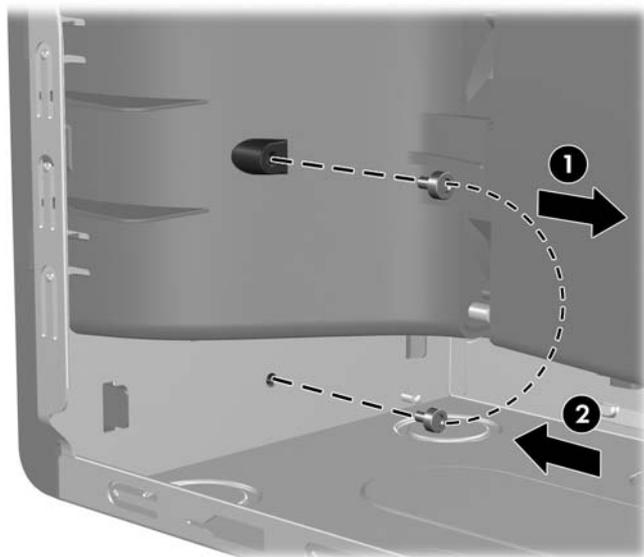


フロント パネルのセキュリティ

提供されているセキュリティ ネジを取り付けると、フロント パネルを所定の位置で固定できます。

セキュリティ ネジは、シャーシ内部のファン ダクトにあります。フロント パネルを固定するには、ファン ダクトからセキュリティ ネジを取り外し (1)、フロント パネルのシャーシに取り付けます (2)。

図 C-7 フロント パネルのセキュリティ ネジの取り付け



D 静電気対策

人間の指などの導電体からの静電気の放電によって、システム ボードなど静電気に弱いデバイスが損傷する可能性があります。このような損傷によって、デバイスの耐用年数が短くなることがあります。

静電気による損傷の防止

静電気による損傷を防ぐには、以下のことを守ってください。

- 運搬や保管の際は、静電気防止用のケースに入れ、手で直接触れることは避けます。
- 静電気に弱い部品は、静電気防止措置のなされている作業台に置くまでは、専用のケースに入れたままにしておきます。
- 部品をケースから取り出す前に、まずケースごとアースされている面に置きます。
- ピン、リード線、および回路には触れないようにします。
- 静電気に弱い部品に触れるときには、常に自分の身体に対して適切なアースを行います。

アースの方法

アースにはいくつかの方法があります。静電気に弱い部品を取り扱うときには、以下のうち1つ以上の方法でアースを行ってください。

- すでにアースされているコンピュータのシャーシにアース バンドをつなぎます。アース バンドは柔軟な帯状のもので、アース コード内の抵抗は、 $1\text{M}\Omega \pm 10\%$ です。アースを正しく行うために、アース バンドは肌に密着させてください。
- 立って作業する場合には、かかとやつま先にアース バンドを付けます。導電性または静電気拡散性の床の場合には、両足にアース バンドを付けます。
- 磁気を帯びていない作業用具を使用します。
- 折りたたみ式の静電気防止マットが付いた、携帯式の作業用具もあります。

上記のような、適切にアースを行うための器具がない場合は、HP のサポート窓口にお問い合わせください。

 **注記：** 静電気について詳しくは、HP のサポート窓口にお問い合わせください。

E コンピュータ操作のガイドラインおよび手入れと運搬時の注意

コンピュータ操作のガイドラインおよび手入れに関する注意

コンピュータおよびモニタのセットアップや手入れを適切に行えるよう、以下のことを守ってください。

- 湿度の高い所や、直射日光の当たる場所、または極端に温度が高い場所や低い場所には置かないでください。
- コンピュータは、机のようなしっかりとした水平なところに設置してください。また、通気が確保されるよう、コンピュータの通気孔のある面とモニタの上部に、少なくとも 10.2 cm の空間を確保してください。
- 内部への通気が悪くなるので、絶対にコンピュータの通気孔をふさがないでください。キーボードを横置き構成の本体のフロントパネルに立てかけることも、おやめください。
- コンピュータのアクセスパネルまたは拡張カードスロットのカバーのどれかを取り外したまま使用しないでください。
- コンピュータを積み重ねたり、互いの排気や熱にさらされるほどコンピュータ同士を近くに置いたりしないでください。
- コンピュータを別のエンクロージャに入れて操作する場合、吸気孔および排気孔がエンクロージャに装備されている必要があります。また、この場合にも上記のガイドラインを守ってください。
- コンピュータ本体やキーボードに液体をこぼさないでください。
- モニタ上部の通気孔は、絶対にふさがないでください。
- スリープ状態を含む、オペレーティングシステムやその他のソフトウェアの電源管理機能をインストールまたは有効にしてください。
- 以下の項目については、必ずコンピュータの電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いてから行ってください。
 - コンピュータやモニタの外側、およびキーボードの表面が汚れたら、水で軽く湿らせた柔らかい布で汚れを落とした後、けばだたない柔らかい布で拭いて乾かしてください。洗剤などを使用すると、変色や変質の原因となります。
 - コンピュータの通気孔やモニタ上部の通気孔は、ときどき掃除してください。糸くずやほこりなどの異物によって通気孔がふさがれると、内部への通気が悪くなり、故障の原因となります。

オプティカルドライブの使用上の注意

オプティカルドライブの操作や手入れは、次の項目に注意して行ってください。

操作および取り扱いに関する注意

- 操作中はドライブを動かさないでください。データ読み取り中にドライブを動かすと誤動作することがあります。
- 急に温度が変化するとドライブ内に結露することがあるので気をつけてください。ドライブの電源が入っているときに急な温度変化があった場合は、1時間以上待ってから電源を切ってください。すぐに操作すると、誤動作が起きることがあります。
- ドライブは高温多湿、直射日光が当たる場所、または機械の振動がある所には置かないでください。

クリーニングの際の注意

- フロントパネルやスイッチ類が汚れたら、水で軽く湿らせた柔らかい布で拭いてください。けっして、クリーニング液を直接スプレーしないでください。
- アルコールやベンジンなど、揮発性の液体を使用しないでください。変色や、変質の原因となります。

安全にお使いいただくためのご注意

ドライブの中に異物や液体が入ってしまった場合は、ただちにコンピュータの電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いて、HPのサポート窓口にて点検を依頼してください。

運搬時の注意

コンピュータを運搬する場合は、以下のことを守ってください。

1. ハードディスク内のファイルのバックアップをCD、テープカートリッジ、またはディスクットにとります。バックアップをとったメディアは、保管中または運搬中に、電気や磁気の影響を受けないよう気をつけます。

 **注記：** ハードディスクドライブは、システムの電源が切れると自動的にロックされます。

2. すべてのリムーバブルメディアを取り出して保管します。
3. 運搬中のドライブを保護するために、空のディスクットをディスクットドライブに挿入します。オプティカルドライブにメディアが挿入されている場合は取り出します。
4. コンピュータおよび外付けデバイスの電源を切ります。
5. 電源コンセントから電源コードを抜き取り、次にコンピュータからも抜き取ります。
6. 外付けデバイスの電源コードを電源コンセントから抜いてから、外付けデバイスからも抜き取ります。

 **注記：** すべてのボードがスロットにしっかりとめ込まれていることを確認します。

7. お買い上げのときにコンピュータが入っていた箱か、同等の箱に保護材を十分に詰め、コンピュータとキーボードやマウスなどの外部システム装置を入れて梱包します。

索引

D

DIMM. を参照 メモリ を参照

P

PCI Express カード 17, 20

PCI カード 17, 19

U

USB ポート

フロント パネル 2

リア パネル 4

W

Windows ロゴ キー 6

あ

アクセス パネル

固定および固定解除 46

取り付け 10

取り外し 9

アクセス パネルの固定解除 46

う

運搬時の注意 52

お

オーディオ コネクタ 2, 4

オプティカル ドライブ

クリーニング 52

使用上の注意 52

取り付け 29

取り外し 26

か

ガイド用ネジ 23

拡張カードのソケット 17

拡張カード

スロットの位置 17

取り付け 17

取り外し 17

拡張スロット カバー

取り付け 20

取り外し 19

き

キーボード

各部 5

コネクタ 4

こ

コンピュータ操作のガイドライン 51

し

システム ボードのドライブ接続 25

仕様

コンピュータ 41

メモリ 13

シリアル コネクタ 4

シリアル番号の記載位置 7

せ

静電気対策、損傷の防止 50

製品識別番号の記載位置 7

セキュリティ

HP Business PC セキュリティ

ロック 47

ケーブル ロック 46

南京錠 47

フロント パネル 49

つ

通気のガイドライン 51

て

電源 41

ディスク ドライブ

取り付け 29

取り外し 26

と

ドライブ

位置 22

ケーブルの接続 23

取り付け 23

取り付けガイドライン 8

取り付け

オプティカル ドライブ 29

ガイド用ネジ 23

拡張カード 17

セキュリティ ロック 46

ディスク ドライブ 29

ドライブ ケーブル 23

ハードディスク ドライブの取り外し 36

ハードディスク ドライブ 34

バッテリー 43

メディア カード リーダー 29

メモリ 13

取り外し

PCI Express カード 20

PCI カード 19

オプティカル ドライブ 26

拡張カード 17

拡張スロット カバー 19

コンピュータのアクセス パネル 9

ディスク ドライブ 26

ハードディスク ドライブ 32

バッテリー 43

フロント パネル 11

メディア カード リーダー 26

ね

ネットワーク コネクタ 4

は

ハードディスク ドライブの取り外し

取り付け 36

ハードディスク ドライブ

取り付け 34

取り外し 32

ふ

フロント パネルの各部 2

フロント パネル

セキュリティ 49

取り付け 12

取り外し 11

へ

ヘッドフォン コネクタ 2

ま

マイク コネクタ 2

マウス コネクタ 4

め

メディア カード リーダー

機能 3

取り付け 29

取り外し 26

メモリ

仕様 13

ソケットへの取り付け 14

取り付け 13

も

モニタ コネクタ 4

ら

ラインアウト コネクタ 4

ラインイン コネクタ 4

り

リア パネルの各部 4

ろ

ロック

HP Business PC セキュリティ

ロック 47

ケーブル ロック 46

南京錠 47

フロント パネル 49